

海外派遣留学 ガイドブック 第2版



留学制度の概要
協定校紹介
留学前・留学後の手続き
留学体験記



公立大学法人
MEIO UNIVERSITY

名桜大学

目次

I. 発行にあたり	2
II. 本学留学制度の概要	3
留学に向けてのタイムテーブル	5
名桜大学海外交流協定校一覧	6
海外交流協定校派遣・受入実績	7
海外留学の心得	8
III. 海外協定校紹介	
中南米圏	
・ロンドリーナ州立総合大学（ブラジル）	11
・産業社会科学大学（アルゼンチン）	13
・パシフィコ大学（ペルー）	15
アジア圏	
・啓明大学校（韓国）	17
・国立済州大学校（韓国）	19
・大仁科技大学（台湾）	21
・湖南農業大学（中国）	22
・北京聯合大学旅遊学院大学（中国）	23
・ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学（ベトナム）	25
・メーファールァング大学（タイ）	26
・サイアム大学（タイ）	28
・マラヤ大学（マレーシア）	29
・ハサヌディン大学（インドネシア）	30
・マニラ大学（フィリピン）	32
英語圏	
・セントラルランカシャー大学（英国）	33
・ハワイ大学ヒロ校（米国）	35
・ウーロンゴン大学（オーストラリア）	37
・サウスイーストミズリー州立大学（米国）	39
・ジョージフォックス大学（米国）	41
・グアム大学（米国）	42
・スプリングフィールド大学（米国）	43
・ロングアイランド大学（米国）	44
IV. 留学前・留学後の諸手続きについて	
・海外協定大学派遣交換留学生留学願書	48
・名桜大学海外協定大学派遣交換留学生経済支弁保証及び誓約書	49
・留学中における『演習』履修指導計画	50
・留学中における単位認定計画書	51
・名桜大学国外派遣留学チェックリスト	52
V. 留学生体験記	54

I. 発行にあたり



留学のおすすめ

学長 瀬名波榮喜

名桜大学は、1994年、平和・自由・進歩を建学の精神として掲げ、国際性豊かな人材の育成を目指して沖縄本島北部に設置された公設民営の大学でスタートいたしました。本学が国際文化、経営情報、及び観光産業学科から成る国際学部でスタートしたことがそのことを物語っています。その後、国際学部は国際文化、語学教育、経営、診療情報、情報システム、観光産業の6専攻から成る国際学群に改組されました。そしてこれらの専攻の他に7分野の副専攻が準備されています。それに大学院国際文化研究科が設置され、院生は言語文化、社会制度政策、経営情報、観光環境の4教育研究領域

から1領域を選択することになっています。2005年には、健康支援・健康増進・看護・福祉分野の人材育成を目的とした人間健康学部が設置され、スポーツ健康と看護の2学科がおかれています。本学は19年にしてこのように大きく発展し、現在1学群、1学部、1研究科体制をとっています。

本学は、国際性豊かな人材を育成するために、開学と同時に東南アジア並びに北米・南米に国際交流協定大学を持つことになりました。東南アジアでは、タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア、フィリピン5か国の大学と国際交流協定を締結しています。北米では、アメリカ合衆国、南米ではブラジル、ボリビア、アルゼンチン、ペルー4か国に各々1協定大学を持つことになりました。東南アジアは、地理的にはもちろんのこと歴史的にも幾世紀にもわたって沖縄と深い関係があることから、また北米と南米は沖縄県民が移民として広く活躍している地域であるからであります。

その他、イギリスやオーストラリアにも協定大学を持っていますが、2008年には隣国の台湾、中国、そして韓国の大学と交流協定を締結することになりました。これらの国々の大学と交流協定を締結したのは、現地実習やインターンシップを実施するにあたり、便宜を与えてくれるだけではなく、国際化・グローバル化社会の中であって学生の交流を促進したいからであります。

また本学は、沖縄県で唯一外国人留学生の定員枠をもっている大学であり、毎年外国人留学生15人を採用することになっています。開学と同時に留学生のための100人収容の寮を建築したのはそのためです。同時に寮母や留学生アドバイザーを配置し遠く母国を離れてきた留学生の安心安全を確保し、生活・学習環境を整えたいという思いからであります。

皆さんを指導する教授陣も実に国際的であります。日本人教授のほかに、米国、英国、韓国、イラン、スーダン等の国々から教授がきており、本学の国際化に大きな貢献をしております。さらに、国際的に活躍している著名な国際司法裁判所長や研究者や経営者が客員教授として先進的な講演やセミナーを開講され、学術的に大きな刺激とインパクトを与えています。

このように、国際性豊かな人材の育成を目指すための制度や環境の整備により、本学のキャンパスはいつそう国際的になります。在学生の皆さんは日本や沖縄の文化を、海外からの留学生は自国の文化交流を図ることにより新しい文化の創造につながるようになります。皆さんが異文化を理解し、友情を暖めることによって世界の平和に寄与することができるのです。

在学生及び海外からの留学生の皆さん、皆さんがこの美しいキャンパスで勉学するために本学を選び、入学されたことを心から歓迎するものであります。そして皆さんの夢と希望が実現できるよう最大の協力と努力を惜しむものではありません。幸いにして、2010年4月には、名桜大学は私立大学から公立大学に生まれ変わることができました。皆さんの学習環境がいつそう改善されることになります。本学在学中に皆さん一人ひとりが大きく成長することを期待してやみません。

2013年 7月吉日

II. 本学留学制度の概要

本学では、交換留学の留学制度を設けています。

その目的は語学力の向上は無論のこと、国や文化、習慣等、様々な違いに直接触れ、国際感覚を養うことです。また、異文化間における相互理解を深めて欲しいと願っています。

◆ 交換留学とは

本学は英語圏、アジア諸国、中南米圏に点在する22大学と協定を結び、留学生を迎え、また、本学から学生を派遣しています。この制度を利用して留学することを交換留学といいます。留学期間は1年(2学期)を限度とし、本学に在籍したまま留学できます。留学先で修得した単位は本学の単位として認められるため、卒業要件単位が満たされれば、4年間で卒業する事も可能です。

そのためには、まず、本学において、交換留学先での履修に備えるために語学力を高め、留学前の履修を計画的に行うことが前提となります。ただし、スポーツ健康学科では、留学先で取得した単位によって、4年間で卒業できない可能性があります。また、看護学科では単位互換ができないので、4年間で卒業できません。

◆ 選考基準

1. 留学出発時において、本学に1年以上在籍した者
2. 修得単位数が1個学期につき平均16単位以上の者
3. 英語科目8単位又は派遣国の言語科目4単位以上を修得し、且つ、そのGPA評定平均が原則3.00以上の者
4. GPAが2.50以上の者
5. 留学の目的が明確で、留学による教育効果が期待される者
6. 心身ともに健康で、留学生活に耐え得る者
7. 保護者の承諾が得られる者

◆ 応募提出書類

1. 海外協定大学派遣交換留学生留学願書(所定様式)
2. 名桜大学海外協定大学派遣交換留学生経済支弁保証及び誓約書
3. 収入に関する証明書(源泉徴収票又は確定申告書(控))
4. 健康診断証明書

注意事項

- ・ 留学願書の受取り及び提出は、応募期間内に学生課国際交流窓口で行って下さい。(期間厳守)
- ・ 留学願書の記入漏れや、提出書類の不備については一切受け付けません。

◆ 選考方法

1. 筆記試験・面接試験を行う。
2. 筆記試験、面接試験と修得単位のGPAに基づいて、全学交流委員会において審議され、教育研究審議会において承認されると、合格者が決定される。

◆ 奨学金制度

日本学生支援機構 (JASSO) 第2種奨学金 (短期留学)

募集時期	形態	金額	受給期間
第Ⅰ期2月初旬 第Ⅱ期4月初旬 第Ⅲ期8月初旬	貸与	3万円・5万円・8万円・10万円・12万円 * 申請時に選択できます。 また、一時金として30万円の貸与もできます。	1年間
出 願 資 格			
・国内在籍学校の学生交流に関する協定等に基づく留学であること。 ・留学により取得した単位が、国内在籍学校の単位として認定される留学であること。			

留学に向けてのタイムテーブル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
英語圏 (オーストラリア)	留学開始・留学期間中3ヶ月に1回留学レポート提出・2月頃帰国						留学 説明会	応募締切 (初旬) 留学試験 (中旬)	選考結果 発表	申請書類提出・ビザ申請・ 留学前オリエンテーション 履修指導・語学指導			
英語圏 (アメリカ) (イギリス)	申請書類提出・ビザ申請・ 留学前オリエンテーション 履修指導・語学指導				留学開始・留学期間中3ヶ月に 1回留学レポート提出・ 6月頃帰国			留学 説明会	応募締切 (初旬) 留学試験 (中旬)	選考結果 発表	申請書類提出・ ビザ申請・ 留学前オリエンテーション 履修指導・語学指導		
中南米圏	3月中旬留学開始・留学期間中3ヶ月に1回留学レポート提出・2月頃帰国						留学説明会 (中旬) 応募締切 (下旬) 留学試験 (下旬)	選考結果 発表	申請書類提出・ビザ申請・ 留学前オリエンテーション 履修指導・語学指導			留学開始	
東アジア圏 (韓国)	留学期間中3ヶ月に1回留学レポート提出・1月頃帰国						留学説明会 (中旬) 応募締切 (下旬) 留学試験 (下旬)	選考結果 発表 (中旬)	申請書類提出・ ビザ申請・ 留学前オリエンテーション 履修指導・語学指導	2月末出発	初旬 留学開始		
東アジア圏 (中国・台湾)	選考結果発表・申請書類提出 ビザ申請留学前オリエンテーション・履修指導・語学指導					留学開始・留学期間中3ヶ月に 1回留学レポート提出・7月頃帰国				留学説明会(中旬) 応募締切(下旬) 留学試験(下旬)			
東南アジア圏	申請書類提出・ ビザ申請 留学前 オリエンテーション 履修指導・ 語学指導	留学開始・留学期間中3ヶ月に1回留学レポート提出・5月頃帰国							留学説明会 (初旬) 応募締切 (中旬) 留学試験 (下旬)	選考結果 発表			

名桜大学海外交流協定校一覧

No.	地 域	大 学	国・地域	協定年
1	中南米	ロンドリーナ州立総合大学 Universidade Estadual de Londrina	ブラジル Brazil	1994
2		産業社会科学大学 Universidad de Ciencias Empresariales y Sociales	アルゼンチン Argentine	1994
3		パシフィコ大学 Universidad del Pacífico	ペルー Peru	1994
4	東アジア	啓明大学校(大学) Keimyung University	韓国 Korea	2008
5		国立済州大学校(大学) Jeju National University	韓国 Korea	2011
6		大仁科技大学 Tajen University	台湾 Taiwan	2008
7		湖南農業大学 Human Agricultural University	中国 China	2008
8		北京聯合大学旅遊学院大学 Institute of Tourism of Beijing Union University	中国 China	2008
9	東南アジア	ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学 Vietnam National University - Ho Chi Minh City, University of Social Sciences and Humanities	ベトナム Vietnam	1995
10		マラヤ大学 University of Malaya	マレーシア Malaysia	1996
11		メーファールuang大学 Mae Fah Luang University	タイ Thailand	2004
12		サイアム大学 Siam University	タイ Thailand	2013
13		ハサヌディン大学 Hasanuddin University	インドネシア Indonesia	2002
14		マニラ大学 University of Manila	フィリピン Philippines	1998
15	北米	ジョージ・フォックス大学 George Fox University	アメリカ USA	2001
16		ロング・アイランド大学 Long Island University	アメリカ USA	1997
17		サウスイーストミズリー州立大学 Southeast Missouri State Universtiy	アメリカ USA	2012
18		スプリングフィールド大学 Springfield College	アメリカ USA	2011
19	太平洋地域	ハワイ大学ヒロ校 University of Hawaii at Hilo	アメリカ USA	1996
20		グアム大学 University of Guam	アメリカ USA	2004
21		ウーロンゴン大学 University of Wollongong	オーストラリア Australia	2007
22	欧州	セントラル・ランカシャー大学 University of Central Lancashire	イギリス UK	1998

海外交流協定大学派遣・受入実績

大学名		年度		1994 平6	1995 平7	1996 平8	1997 平9	1998 平10	1999 平11	2000 平12	2001 平13	2002 平14	2003 平15	2004 平16	2005 平17	2006 平18	2007 平19	2008 平20	2009 平21	2010 平22	2011 平23	2012 平24	合計
ロンドリーナ州立 総合大学	派遣				2		5	6	5	4	5	5	4	5	2	2	5	2	1	3	2	58	
	受入			2		1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	2	20	
産業社会科学	派遣					2		1	4	4	1	2	2	1	1							19	
	受入													1	1							1	
ガブリエル・レネ・モレノ 国立自治大学	派遣						1	1	1			1										4	
	受入																					0	
パシフィコ大学	派遣																					0	
	受入																					0	
ベトナム国家大学 ホーチミン市人文社会科学大学	派遣		7				1	0							1							9	
	受入				4	2	1	2														9	
チェンマイ大学	派遣				1		1	2	2	1	2	2	1									12	
	受入				2		2	2	2	1	1	1	1									10	
マラヤ大学	派遣						1	2	1	1		1			1							7	
	受入								1	1	1											3	
ハワイ大学ヒロ校	派遣					1																3	
	受入																					0	
マニラ大学	派遣							1														1	
	受入						1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	
ジョージ・フォックス 大学	派遣									20	21	15	12	3								71	
	受入																					0	
ハサヌディン大学	派遣																					0	
	受入																					0	
メーファールアング 大学	派遣												1				1					2	
	受入																	4	2	1		7	
グアム大学	派遣												1	1	1	1	1	1				5	
	受入													1								1	
ウーロンゴン大学	派遣															3	1	7	2	4	8	25	
	受入																					0	
耽羅大学	派遣								3	2	1	3	4									9	
	受入									9	3	2	2									20	
ロングアイランド 大学	派遣				5	2																7	
	受入																					0	
セントラル ランカシア大学	派遣				2	3	2	3		1	2	1							2	2	3	21	
	受入				1	3	2	1	2	3									1	1	5	19	
大仁科技大学	派遣																			1		1	
	受入																		2	1		3	
湖南農業大学	派遣																			1		2	
	受入																2	1	1	1		5	
北京聯合大学 旅遊学院大学	派遣																			2	1	2	
	受入																		2	2	3	8	
啓明大学校(大学)	派遣																	2	3	2	5	12	
	受入																	2	2	3	3	7	
国立濟州大学校 (大学)	派遣																				2	2	
	受入																					0	
合計	派遣	0	7	0	3	16	17	16	17	31	32	26	25	9	7	7	13	12	12	26	270		
	受入	0	0	2	6	4	9	8	4	14	9	5	6	7	2	2	5	13	11	15	123		

名桜大学 海外留学の心得

【留学前の心得】

◆語学力を磨き、自国の文化を伝える

現地では学校のみではなく、生活のあらゆる場面で現地の語学力が堪能でなければ様々な困難を引き起こすこととなります。そのためすべての協定大学の留学試験で本学独自の語学試験が実施されます。留学の目的が現地の語学力を磨くことである学生が多数ですが、留学前に高い語学力を身につけている学生は、留学中の語学力の伸びの程度が高いと言われています。

さらに現地では日本文化や習慣の紹介を求められる場合があります。他国の文化理解のみではなく、日本や沖縄の文化を紹介できることが広い意味での異文化理解と言えます。

◆可能な限り多くの単位を修得し、良い成績を収める

協定大学への交換留学は、留学中に現地で修得した単位が本学で単位認定され、留学の期間を含めて4年間で卒業する事が可能ですが、認定される単位数は多くありません。1年次から計画的に、留学前にできるだけ多くの単位を修得しておく必要があります。また、本学は留学派遣判定の成績基準はGPA2.5以上(「優」と「良」の中間)と定められており、本学から派遣される学生として、すべての科目において良い成績を収める必要があります。

◆早い時期から留学の準備を始める

留学先へ志願申込みを開始して、学生ビザが発給されるまで2ヵ月以上かかるのが通常です。パスポートの準備、学費の支払い、現地の宿泊施設(ホームステイ)の申し込み、航空券の予約、クレジットカードや現地銀行の口座開設、健康診断などに遅くとも4ヵ月前から準備をする必要があります。他に、語学辞書、ノートパソコン、変圧器(現地の電圧を確認)、現地の現金やトラベラーズ・チェック、持病の常備薬、マルチタイプのコンセント(海外はコンセントの形状が異なる)、デジカメ、現地の気候に応じた衣服などが必要となります。

海外派遣留学生対象に奨学金を給付または貸与する制度や国外協定校(特定の国)から名桜大学学生対象に奨学金が給付される制度もあります。学生課に問い合わせてください。

出発直前には、利用する航空会社の荷物重量制限(国により異なる)や機内持ち込み禁止物や現地へ持ち込み禁止物(国により異なる)を確認する必要があります。

また、歯の治療は海外旅行傷害保険金の適用外となるために、長期の留学に備えて歯の治療も含めて持病の治療を留学前に済ませておくことが必要です。

◆留学先の情報は自ら集める

留学派遣が決定すると教職員により留学オリエンテーションが行われます。しかし、学生自らインターネットやトラベルガイドブック等(『地球の歩き方』ダイヤモンド社など)を用いて、入念に下調べをする必要があります。

例えば、現地の気候、現地と日本の時差や、電話の国番号(日本の電話の国番号は「81」)現地通貨と日本円の交換レートなどの下調べが必要です。

◆大学への提出物や手続きを確認

留学中は、Eメール等を利用して指導教員と連絡を取り合いながら、「演習」(2年次～4年次対象)の講義を履修することになっています。『留学中における「演習」履修指導計画』を教務課に提出して下さい。また、留学後に単位認定がスムーズにできるように『留学中における単位認定計画書』も教務課に提出して下さい。「演習」の指導はEメールにより添付ファイルを用いて指導するのが普通なので、GmailやHotmailなどの無料メールを留学前に開設した方が望ましいでしょう。

留学直前には、「海外旅行傷害保険」(個人で支払う)や「危機管理保険」(本学が支払う)への保険手続きも必要となります。

留学出発前には現地の滞在先の連絡先や現地の大使館、沖縄県人会、日本人会などの連絡先、パスポート番号、クレジット会社や保険会社の連絡先、トラベラーズ・チェックの番号などの必要な情報をメモしておくで安心です。

◆留学の目的や将来設計を明確にする

留学は憧れだけでは成功しません。留学する前に、「なぜ留学したいのか」「留学でどんな成果を得たいのか」「今、考えている国だけが選択肢なのか」「留学がベストな選択肢か」「将来の目標は」などを考慮して留学を決定して下さい。せっかく、高額な費用を使って留学するからには留学に対する明確な目標設定が必要です。

また、日本では予想できないあらゆる困難を留学先では自らの判断と能力で解決しなければいけません。留学先できちんと学業と生活ができる独立心があるか、今一度自分自身に問うて下さい。

【留学中の心得】

◆到着したらすぐに「在留届」を出し、沖縄県人会に連絡する

現地に到着したら、現地の大使館や総領事館に「在留届」を提出すると、テロや災害の際に情報が提供されます。また、現地に沖縄県人会や日本人会があれば、滞在先を報告すると現地で困った時に相談ができます。

◆留学中は本学の指導教員や留学担当教職員と定期的に連絡を取る

留学中は、生活の場所は海外でも、在籍は名桜大学であり本学の学生であることを忘れないで下さい。留学中に問題が発生した場合、やむを得ない理由により住居を変更する場合、協定校の講義休業中の小旅行の行き先などは常に大学に連絡をして下さい。留学する言語圏により定期的に留学先の生活や学業状況を報告する「現状報告書」を提出しなければなりません。

また、現地の協定大学には必ず留学生担当のアドバイザーがいます。現地で解決できる問題は留学先アドバイザーに相談して下さい。

◆留学中の行動は自己責任である

留学中の事故や事件に対しては出発前に諸保険の手続きを行い、保険会社や大学が不測の事態に備えています。しかし、留学中の行動についてはあらゆる場面で自分で判断する必要があり、自己責任であると考え、自らの安全は自ら保障する考えが大切です。留学中は「危険な時間帯」と「危険な場所」に常に気を配り、現地の情報にアンテナを張り、危険の察知に敏感になる必要があります。

◆留学中の「演習」課題を忘れない

留学中に「演習」講義の課題が指導教員から課されます。単位が修得できるように期限を守り、必要な単位を修得する様にして下さい。

【留学後の心得】

◆帰国報告と単位認定の手続きを行う

帰国後は、帰国したことを速やかに教職員に報告し、「修了証明書」と「成績証明書」を指導教員に提出し、単位認定の作業を行ってください。帰国後の講義の事前登録なども必要になります。

Ⅲ. 海外協定校紹介

ロンドリーナ州立総合大学

(Universidade Estadual de Londrina)
<http://www.uel.br>

1. 所在地

ブラジル連邦共和国、パラナ州、ロンドリーナ市

2. ロンドリーナ州立総合大学(以下UELとする)の概要

UELは、1970年に創設され1974年連邦政府により認可された総合大学である。

現在パラナ州立大学の中で最大規模を誇る。州政府が基本経費を負担し、教育研究組織として自治を持って運営されている。

創立以来、4万人の卒業生を送り出した。



ロンドリーナ州立総合大学キャンパス

3. ロンドリーナ州立総合大学の学部と学生

1) 学部 (9学部) 及び大学院

9学部の中に54の学科がある。さらに149の大学院コースには、博士課程(8コース)、修士課程(24コース)、医学レジデント(31コース)、リハビリテーション・レジデント(2コース)、獣医学(4コース)、特別研究コース(80コース)のプログラムを持つ。学部生は13,661名で、大学院生は2,351名で合計16,012名の学生数である。また教員数は1,640人で、其うち博士号取得者は623名で修士号取得者は653名である。職員は3,754名である。

2) 学部名

農学部、生物学部、理学部、医学部、教育学部、体育学部、法経学部、人文学部、工学部。

4. 海外交流協定校 (ロンドリーナ州立総合大学側)

日本の協定校(3大学)：名桜大学、兵庫県立大学、神田外国語大学。

5. ロンドリーナ州立総合大学・日本文化研究センター(附属語学学校)の概要

同センターは、1998年の日本人移民90周年に際し、姉妹都市・沖縄県・名護市の資金で建設された。

日本文化研究センターには、名桜大学からの留学生専用の学習スペースとして施設の4分の1が確保されている。また、毎年9月に行われる中南米現地実習の集中講義も同センターの講堂で行われる。

6. ロンドリーナ州立総合大学とロンドリーナ沖縄県人会との協力関係

1994年の名桜大学との学術交流協定締結以来、ロンドリーナ沖縄県人会は両大学間の仲介の役割を果たしてきた。たとえば、名桜大学の留学生が病気になったときの援助や生活面の相談などに乗っている。

また毎年9月に行われる中南米現地実習の文化交流会も県人会の協力のもと同県人会会館で開催される。



日本文化研究センター (沖縄県・名護市建設)

7. 留学の期間

前期：3月から7月までの5カ月間。 後期：8月から12月初旬までの4カ月間。

8. 年間授業料及び住居費、他諸費

年間授業料：無料（相互免除）

海外旅行傷害保険：約12万円（危機管理保険は、名桜大学が負担）

年間住居費：約24万円

空港までの迎え：UELの公用車がロンドリーナ空港まで出迎える。

航空運賃：約26万円（往復）【小遣いや旅行費用等は除く】



ロンドリーナ州立総合大学
留学生寮

9. 住居(学生寮)

UELが用意した名桜大学留学生用の寮があり、個室を提供されている。

寮にはコンピュータ室、プール、フット・サルコートが併設されている。

10. 認定科目

現地の大学で優秀な成績を収めた学生は、次の科目などが単位認定される。認定される科目は個人によって異なる。

(単位認定の例)

「ポルトガル語」、「中南米の言語と文化」、「中南米の歴史」、「中南米の社会」、「移民と異文化」、「中南米の民俗」、「演習」、「異文化コミュニケーション論」、「日本の思想」、「比較芸術論」、その他、名桜大学で開講されている科目とほぼ同じ内容のUELでの科目など。

11. 留学の主な手続き

入学申込書の提出(本人)→申込許可書(ロンドリーナ州立総合大学)→入学許可書(ロンドリーナ州立総合大学)→ビザの申請(本人)→出発。

事前にパスポートを取得しておくこと。

住所：Universidade Estadual de Londrina
Campus Universitário
Caixa Postal 6001
CEP 86051-990
Londrina-Paraná-Brasil

電話：55- 43- 3341- 4000（代表）
（ブラジル）（ロンドリーナ市）

産業社会科学大学

(Universidad de Ciencias Empresariales y Sociales)
<http://www.uces.edu.ar>

1.所在地

アルゼンチン共和国、ブエノス・アイレス州、
ブエノス・アイレス市

2.産業社会科学大学(UCES)の概要

産業社会科学大学は、1993年に当時のアルゼンチンの社会的、
経済的状況の悪化に鑑み企業家グループらによって創設された
私立大学である。

大学院は、国際マーケティング専攻、コミュニケーション専攻、
人的資源専攻、健康サービス専攻、環境専攻、市場調査専攻、
運輸専攻などがある。

3.大学の学科と学生

1) 学生数

9学科を有する。学科の学生数は10,200名で、大学院生は、850名で合計11,050名の学生数である。
また教員数は1,470名である。

2) 学科

専門家育成学科、国際関係学科、マーケティング学科、教員養成学科、リサーチ学科、体育学科、
エックステーション学科、産業学科。

4.海外交流協定校（産業社会科学大学側）

南北アメリカ地域には23大学、ヨーロッパ地域には23大学、アジア・太平洋地域に2大学、その他の地域に
20大学の海外交流協定校を有し、全世界には68以上もの大学と学術交流協定を提携している。

5.産業社会科学大学とアルゼンチン沖縄県人会との協力関係

1994年の名桜大学との学術交流協定締結以来、アルゼンチン沖縄県人会が両大学間の仲介の役割を果たして
いる。たとえば、名桜大学の留学生が病気になったときの援助や生活面の相談などに乗っている。また、産業
社会科学大学は、1998年の日本人移民90周年に際し名護市と協力関係を構築した。また毎年9月に行われる
中南米現地実習の文化交流会も同県人会の講堂で行われる。

6.外国人のためのスペイン語集中講座

産業社会科学大学には、外国人のためのスペイン語プログラムが名桜大学生のために提供されている。
このプログラムは、産業社会科学大学の学部課程に入る前の前提科目として提供されている。

7.留学の期間

前期：3月から7月までの5カ月間。 後期：8月から12月初旬までの4カ月間。

8.年間授業料及び住居費、他諸費(参考)

年間授業料：無料(相互免除)

海外旅行傷害保険：約12万円(危機管理保険は、名桜大学が負担)

年間住居費：約24万円



空港までの迎え：産業社会科学大学の公用車が、ブエノス・アイレスにあるエセイサ国際空港まで出迎える。

航空運賃：約31万円（往復）【小遣いや旅行費用等は除く】

9. 住居

産業社会科学大学が用意した名桜大学留学生用のセウアン寮がある。寮には食堂とコンピュータ室が併設されている。

10. 認定科目

現地の大学で優秀な成績を収めた学生は次の科目などが単位認定される。認定される科目は個人によって異なる。

(単位認定の例)

「スペイン語」、「中南米の民俗」、「演習」、「中南米の社会」、「中南米の歴史」、「移民と異文化」、「中南米の言語と文化」など。

11. 留学の主な手続き

入学申込書の提出(本人)→申込許可書(産業社会科学大学)→入学許可書(産業社会科学大学)→ビザの申請(本人)→出発。

事前にパスポートを取得しておくこと。

住所：Universidad de Ciencias Empresariales y Sociales
Paraguay 1338,6 Piso(C1057AAV),
Ciudad de Buenos Aires,
Argentina

電話：54-11-4815-3290（代表）
（アルゼンチン）（ブエノスアイレス）

パシフィコ大学

(Universidad del Pacífico)
<http://www.up.edu.pe>

1.所在地

ペルー共和国、リマ州、リマ市

2.パシフィコ大学の概要

パシフィコ大学は、1962年に青少年の教育向上のためペルーの企業家グループによって創設された大学である。

またイエズス会をパシフィコ大学設立団体の一つとして認めている私立大学でもある。

大学院は、1977年に創設されその中には経営専攻、金融専攻、経済専攻、企業リーダー養成専攻それにマーケティング専攻などがある。



3.パシフィコ大学の学部、大学院と学生数

1) 学部 (4学部)

経営・会計学部、法学部、ビジネス・エンジニア学部、経済学部。

学部生は2,500名で卒業生は7,000名である。大学院の卒業生は2,400名である。

2) 学科名 (5学科)

経営学科、会計学科、法律学科、経済学科、ビジネス・エンジニア学科。

3) 大学院 (2コース)

財政・金融コース、経済コース。

4.海外交流協定校(パシフィコ大学側)

南北アメリカ地域には14大学、ヨーロッパ地域には47大学、アジア・太平洋地域に2大学、その他の地域に30大学の海外交流協定校を有し、全世界には90以上もの大学と学術交流協定を提携している。

5.パシフィコ大学とペルー沖縄県人会との協力関係

1994年、パシフィコ大学と名桜大学との学術交流協定が締結されて以来、ペルー沖縄県人会が両組織の間で中心的な役割を担っている。たとえば、名桜大学の留学生が病気になったときの援助や生活面の相談などである。また、パシフィコ大学は、2006年の日本人移民100周年に際し名護市と協力関係を構築した。

また毎年9月に行われる中南米現地実習の文化交流会も同県人会館の講堂で行われる。

6.外国人のためのスペイン語学習センター

パシフィコ大学には、外国人のためのスペイン語プログラム(有料)が用意されている。

このプログラムは、パシフィコ大学の学部課程に入る前に3週間の集中講義として付属の言語センターで提供されている。

7.留学の期間

前期：3月から7月までの5カ月間。 後期：8月から12月初旬までの4カ月間。

8.年間授業料及び住居費、他諸費（参考）

年間授業料：無料（相互免除）

ただし、言語センターにおける「外国人のためのスペイン語講座」は有料。

海外旅行傷害保険：約12万円（危機管理保険は、名桜大学が負担。）

年間住居費：約24万円

空港までの迎え：パシフィコ大学の公用車が、リマ国際空港まで出迎える。

航空運賃：約28万円（往復）【小遣いや旅行費用等は除く】

9.住居

パシフィコ大学が用意した留学生の寮がある。寮には食堂とコンピュータ室が併設されている。

10.認定科目

現地の大学で優秀な成績を収めた学生は次の科目などが単位認定される。認定される科目は個人によって異なる。

（単位認定の例）

「スペイン語」、「中南米の民俗」、「演習」、「中南米の社会」、「中南米の歴史」、「移民と異文化」「中南米の言語と文化」など。

11.留学の主な手続き

入学申込書の提出(本人)→申込許可書(パシフィコ大学)→入学許可書(パシフィコ大学)→ビザの申請(本人)→出発。

事前にパスポートを取得しておくこと。

住所：Universidad del Pacifico

Av. Saraverry 2020, Jesus Maria, Lima, Per.

電話：51-2-2190-1301（代表） 又は51-1-2190-0100

（ペルー）（リマ市）

ケ-ミョン
啓明大学校
(Keimyung University)
<http://www.kmu.ac.kr/>

1.所在地

韓国 テグ大邱広域市

2.啓明大学の概要

韓国第三の都市の大邱広域市に所在し、1954年、外国宣教師によってキリスト教精神に基づいて設立された。

1978年に総合大学に昇格し、韓国国内はもちろん世界でも活躍できる人材育成を目指し、ますます躍進するグローバルな大学である。



3.首都ソウルからのアクセス

- 1) KTX(高速鉄道)：約1時間40分所要
- 2) 航空便：約1時間所要
- 3) 高速バス：約5時間半所要

4.啓明大学校の組織と規模

- 1) 学部生が20,600余名、大学院生が2,200余名、教職員が1,200余名の韓国屈指の私立大学である。
- 2) 海外交流協定校は37カ国の約250大学にのぼり、日本には名桜大学、琉球大学、広島修道大学、桃山学院大学、関西外国語大学、梅花大学、学習院大学などがある。
- 3) 24の学部：人文、国際学、師範、経営、社会科学、法経、自然科学、環境、工科、医科、看護、音楽・公演・芸術、美術、ファッション、体育、メディアアート学部、薬学部など。
- 4) 11の大学院：教育、経営、政策、女性学、通訳・翻訳、神学、芸術、医療経営大学院など。
- 5) 附属機関：附属病院（大邱と慶州^{キョンジュ}）、附属幼稚園、図書館、博物館、出版部、韓国語学堂など。
- 6) 附属研究所：産業経営研究所、医科学研究所、国際学研究所、看護科学研究所、人文科学研究所、女性学研究所など。

5.授業料などの諸経費

- 1) 授業料：本学に授業料を納め、協定校には納めない。ただし、「韓国語語学堂」の講義を履修する者には以下の費用が発生する。
 - ・入学費：30,000ウォン(*最初の登録時にのみ支払い、払い戻し不可)
 - ・授業料：370,000ウォン/月
- 2) 航空運賃
- 3) 海外旅行傷害保険：約11万円(*危機管理保険は名桜大学が負担)
- 4) 小遣い

6.単位認定と費用

- 1) 交換学生は交換学生用の必須科目以外に自由に授業を履修することができる。
単位取得科目に関しては大学の基準にそって換算し、単位を認定する。
- 2) 交換学生用の必須科目4単位、コア科目6単位、選択科目70科目(約200単位)の中から自由に履修することができ、費用は無料である。授業はすべて英語で行われる。

- 3) その他、「日本学科」や「日語日文学科」には多くの講義が日本語で行われており、こちらの科目を履修することも可能である。
- 4) 大学内には韓国語習得のための「韓国語学堂」を運営しているが、費用は有料である（以下の7.を参照）。

7.韓国語学堂(付属語学学校)の概要

1) 特徴

- ①学習者の韓国語レベルに合わせた体系的な教育課程
- ②インタビューと語学能力試験(Placement test)による能力別クラス編成
- ③韓国語学習の手助けをするチューター制度

2) 韓国文化の体験学習

焼き物の実習、民謡、韓国料理、テコンドー、茶道、サムルノリ等

3) 大邱近隣の文化遺跡などの見学

大邱シティーツアー、儒教文化探訪、仏教文化探訪

4) その他

- ①インターネットの無料使用
- ②図書館及びジム等の学内各種施設の利用
- ③学内の各種クラブ活動への参加も可能

5) プログラムの概略及び日程

- ①初級から上級まで多様なレベルの学級運営
- ②読解、聞き取り、会話、作文などの総合教育システム
- ③各クラス別の学生数は10~15名程度
- ④週5日（月～金）、1日4時間の授業
午前クラス 09:00～13:00 午後クラス 13:00～17:00

8.住居と学校生活のサポート

- 1) 基本的に2人1室、朝食と夕食の2食つきの寮生活である。費用は1ヶ月で216,250ウォンである。（*約15,440円、2013年4月現在基準）
- 2) 交換学生の場合、日本語エリアの寮で寄宿し、ルームメイトはある程度の日本語運用能力のある在学生である。
- 3) 学校生活や身の回りの相談役として日本語のできる頼もしいチューターがつく。

9.派遣期間

3月から翌年2月までの1年間

10.派遣までの流れ

- ①学内選考：筆記試験(韓国語)、面接、GPA
- ②オリエンテーション
- ③派遣大学入学手続き
- ④出国手続き：パスポート発行、留学ビザの申請
- ⑤出国：2月下旬頃

チェジュ
国立済州大学校
(Jeju National University)
<http://www.jejunu.ac.kr>

1.所在地

韓国済州特別自治道済州市

2.国立済州大学校の概要

- ・済州特別自治道済州市我羅1洞(済州大学路)に本部を置く韓国の国立大学である。1955年に設置され、済州市内に我羅(アラ)・沙羅(サラ、旧・済州教育大)の2キャンパスを持つ。
- ・大学経営のビジョンと目標：グローバル時代のニューリーダー、革新する一流大学
- ・地域拠点大学
- ・グローバル大学
- ・全人教育大学
- ・研究中心大学



3.済州空港からのアクセス

- 1) バス：所要時間約35分
- 2) タクシー：所要時間約20分(約12km)
※国立済州大学校国際交流センター(064-754-2197、064-754-2197~8)
アラキャンパス アラミュージックホール2階

4.国立済州大学校の組織と規模

- 1) 12の学部(人文、社会科学、経商、師範、生命資源科学、海洋科学、自然科学、工科、教育、獣医、看護、芸術デザイン)、22専攻と52の学科がある。大学の入学定員は2,324名で在學生は9,144名である。
- 2) 大学院9の研究科(一般大学院、教育大学院、経営大学院、行政大学院、産業大学院、社会教育大学院、通訳大学院、医学専門大学院、法科専門大学院)があり、修士課程入学定員は216名で、在學生は406名である。博士課程入学定員は138名で、在學生は299名である。
- 3) 海外交流協定校は15カ国の約107大学と15機関にのぼり、日本には名桜大学、琉球大学、九州大学、立命館大学、立命館アジア太平洋大学、東京海洋大学、広島大学、東京学芸大学、早稲田大学、Okuma行政大学院、横浜大学など28大学がある。
- 4) 附属機関：タンラ文化研究所をはじめ17の附属研究所と23の研究センター、附属高等学校・中学校・小学校がある。

5.授業料などの諸経費

- 1) 授業料：本学に授業料を納め、協定校には納めない。
- 2) 航空運賃
- 3) 海外旅行傷害保険：約11万円(*危機管理保険は名桜大学が負担)
- 4) 大学内には韓国語習得のための「韓国語学堂」を運営している。交換留学生の場合、費用は無料である。ただし、テキスト代は個人負担である。また、文化体験のプログラムに参加する場合は有料である。
- 5) 小遣い

6.韓国語学堂(付属語学学校)の概要

- 1) 韓国文化の体験学習
- 2) プログラムの概略及び日程
 - ①初級から上級まで多様なレベルの学級運営
 - ②読解、聞き取り、会話、作文などの総合教育システム
 - ③各クラス別の学生数は10～15名程度
 - ④週5日(月～金)、1日4時間の授業

7.住居と学校生活のサポート

現在679部屋に1700名が入居できる最新式の福利厚生施設で、入居する部屋の他に読書室、スタディールーム、コンピュータ室、スポーツルームなどの福利厚生施設を備えており、入寮する学生には朝・夕食を提供し、宿泊のみならず、学業活動及び、健康管理に最適の環境を提供している。

- 1) 各部屋の設備：ベッド、机、本棚、クローゼットなど
- 2) 調理室の利用時間：06:00 ～ 22:00
- 3) 23:50までに帰寮厳守
- 4) 24:00から翌日5:00までは出入り制限あり

8.派遣期間

3月から翌年2月までの1年間

9.派遣までの流れ

- ①学内選考：筆記試験（韓国語）、面接、GPA
- ②オリエンテーション&事前学習
- ③派遣大学入学手続き
- ④出国手続き：パスポート発行、留学ビザの申請
- ⑤出国：2月下旬頃

大仁科技大学

(Tajen University)
<http://www.tajen.edu.tw/>

1.所在地の概要

台湾南部の屏東縣塩埔郷にあり、屏東市駅から8キロを離れ、高雄市と屏東地区に大学送迎バスが運行している。

台湾は南北に細長い島で、面積は約3万6千平方km、北は日本や沖縄諸島、南はフィリピン諸島に隣接している。人口は2,300万。福建省や客家、中国各地の出身者、原住民など異なる民族からなり、多くの文化を合わせ持っている。

宗教、建築、言語、民族習慣、食生活などでも融合している。特に「食」は代表的なもので、台湾料理、客家料理、湖南料理、四川料理、日本料理、韓国料理、台湾の軽食、地方料理など実に多様で、「グルメ王国」台湾として世界的に有名である。気候は沖縄とよく似ている。



2.大学の概要

大仁科技大学は1966年に創設され、キャンパス面積は30haがある台湾トップ10の技術系大学である。

「アジアで最も人気のある科技大学」を目指し、積極的に中国、日本、アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア、ベトナム、マレーシア、タイ、ロシア等の大学と国際交流協定を締結し、1999年から、留学生を受入れている。

3.学部と学生

大仁科技大学は、環境と健康学部、情報管理学部、レクリエーションとレジャー学部、人文社会学部等4学部で構成され、環境資源管理、医務管理、情報管理、マーケティングと物流管理、レクリエーションとレジャー、宿泊飲食管理等14の4年制課程と18の2年制課程、4の修士課程がある。在学生は14,000人。

4.留学の期間

毎年9月～翌年の8月。(その間、3週間の冬休みと7週間の夏休みを含む)

5.住居

キャンパス内の学生寮。

二人部屋 (A級) : 44,000NT\$/1学年

四人部屋 (B級) : 25,000NT\$/1学年

四人部屋 (C級) : 21,000NT\$/1学年

6.生活費(住居費を含まない)

生活費約6,000～8,000 NT\$/月

7.学費

留学先の学費免除 (留学中の学費は名桜大学に納める)

湖南農業大学

(Human Agricultural University)

<http://www.hunau.net/>

1.所在地の概要

中国湖南省の政治、経済と文化センターである長沙市にある。湖南省は中国の東南部、長江の中流に位置し、気候は大陸型モンスーン気候に属する。年平均気温は16℃～18℃、降水量は1200～1500mm。総人口は65,958,500人で、人口密度は全国31省市の中で、第7位となっている。

中国において重要な農業省の1つで、「魚米の郷」として有名である。近年でIT、バイオテクノロジー等の工業が急激に発展し、新しい産業の柱となっている。

長沙市は、3000年余りの歴史があり、国務院が最初に公布した24の歴史文化都市の一つで、総人口は649万人。



2.大学の概要

湖南農業大学は1951年に創設され、農学、工学、文学、理学、経済学、管理学、法学、教育学、医学等を含む湖南省重点総合大学である。キャンパス面積は2.27平方キロメートルの広大な大学である。日本、アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア等10数国20余の大学と国際交流協定を締結し、1998年から、留学生を受入れている。

3.学部と学生

湖南農業大学は、国際学部、外国語学部、人文科学学部、情報科学技術学部、経済学部、商学部、体育芸術学部、食品科学技術学部等21の学部で構成され、57の4年制課程と9つの3年制課程、77の修士課程と47の博士課程がある。

在学生は50,000人がいる。その内、学部生（短大生を含む）23,000人、修士課程1,973人、博士課程339人、社会人学歴教育在籍生25,000人。

4.留学の期間

毎年9月～翌年の8月。（その間、3週間の冬休みと7週間の夏休みを含む）

5.住居

留学生専用寮。

二人部屋：60人民元/ベッド/1日

一人部屋：120人民元/ベッド/1日

6.食事代

留学生専用食堂：500人民元/人/月

中国人学生食堂：300人民元/人/月

生活費約4万円/月(寮費と食事代を含む)

7.学費

留学先の学費免除(留学中の学費は名桜大学に納める)

北京聯合大学旅遊学院大学

(Institute of Tourism of Beijing Union University)
<http://www.tibuu.edu.cn/tibuu/index.htm>

1. 所在地の概要

北京市朝陽区にあり、北京オリンピックメインスタジアム「鳥の巣」に隣接している。

北京市(略称:京)は中国の首都であり、全国の政治・文化・経済などの中心である。人口は2007年、中国全土で26位の1,743万人に達した。

北京市は中国の6古都の一つ。長い歴史を持っている街として、世界中で人気が高まりつつある。数多くの古代宮殿・皇室園林・廟壇建築など歴史文化あふれる景観が現在でも残っている。

北京は大陸性気候の影響を受け、気候は厳しいといえる。春先には強い砂埃の風が立つ。一年の気温差が比較的大きく、1月の平均気温はマイナス5℃、7月の平均気温は26℃で、年間平均気温は10℃。年間降水量はわずか700mm。



2. 大学の概要

北京聯合大学旅遊学院は1978年、観光管理マネージャーを養成する大学として北京で最も早く設立された。

観光業、ホテル管理業に関しては北京でも代表的な大学として定評を得ている。さらに中国の観光文化、歴史、語学(漢語)を学べるよう留学生の受け入れのシステムもある。毎年在学する留学生数は200名余りに上り、韓国、日本、ロシア、アメリカ、フランス、タイ等の留学生を1,000人余受入れた。

3. 学部と学生

レジャーと観光マネジメント学部、ホテルとフードマネジメント学部、英語観光文化学部、日本語観光文化学部、留学生部及び社会人夜間大学等6つの学部で構成され、22の4年制課程と3年制課程がある。在学学生は約2500人。

1. 正規留学生用コース

観光ホテル管理学科(4年間)、観光文化及び英語学科(4年間)、国際ホテル管理学科(4年間)、観光文化及び日本語学科(4年間)、観光マーケット経営及びホテル飲食管理科(4年間)、調理師専門学科(3年間)

2. 短期コース

- ① 正規生入学準備クラス(半年~1年間)
- ② 中国語短期クラス A: 2週間~4週間、B: 4ヶ月間~8ヶ月間
- ③ 中国料理調理師短期コース(2週間~4週間)

4. 留学の期間

毎年9月~翌年8月(その間、3週間の冬休みと7週間の夏休みが含まれる。)

5. 住居留学生専用寮

◆寮設備及び費用◆

- ・二人部屋 A: 電話、テレビ、エアコン(洗濯機、トイレ、シャワールーム共同)
45人民元/ベッド/日

- ・二人部屋 B : 電話、テレビ、エアコン(トイレ、シャワールーム付)、洗濯機共同
55 人民元/ベッド/日

◆その他の寮内設備◆

大学内には売店、自動販売機、学生用食堂がある。

6.生活費

約4万円/月(寮費を含む)

7.学費

留学先の学費免除(留学中の学費は名桜大学に納める)

ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学 (Vietnam National University Ho Chi Minh City, University of Social Sciences and Humanities) <http://www.hcmussh.edu.vn>

1.大学の概要

ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学 (University of Social Science and Humanities, USSHと略される)は、1955年創立でベトナム国家大学ホーチミン市に属する大学群の一つであり、南ベトナムで最も大きな大学である。

また同大学は、ベトナム社会主義共和国の最高レベルの大学の一つである。

同校のメインキャンパスは、ベトナム最大の都市である人口約740万を持つホーチミン市(以前はサイゴンと呼ばれた市)の中心に位置しており、同市は金融や産業の中心となっている。



2.ベトナムの首都の歴史

ホーチミン市は、ベトナム国の南部にあり、稲作が盛んなメコンデルタ(ベトナム南部の三角州地域)の北に位置する。

1975年までサイゴンはベトナム共和国(南ベトナム)の主都であったが、同年に共産主義軍に占拠され、ベトナム共産主義革命のリーダーを称えてホーチミン市として改名された。ハノイはベトナムの北部に位置し、ベトナム社会主義共和国に再統一された現在の首都である。

3.学生数と学部

USSHは、学部、修士課程、博士課程に約20,000人の学生数を持つ大規模校である。大学名が示すように学部の主な専攻は、文化学、教育学、地理学、歴史学、哲学、社会学、文学・言語学、東洋学、国際関係学などがあり、大半の学生は社会科学、教養科目、外国語や地域研究などを専攻する。また、ベトナム学学科では、積極的に海外からの留学生を受け入れている。

4.協定校

USSHは、日本やアジア各国、ヨーロッパ、オーストラリア、米国などの150以上の国々と協定を結んでいる国際的な大学である。

5.生活状況と学費

USSHとその周辺は、活気に満ちた人口の集中する都市地区である。沖縄と比較すると生活費は比較的安価で、食費は自炊と学食を中心とした食生活で20,000円程度。ベトナム料理は、日本人の口には合いやすい料理で、また良心的な値段である。

USSHの国際協力課が、外国人留学生のためのアパートなどの宿泊施設を案内してくれる。留学生用の寮はホーチミン市から車で30分程の郊外に位置する第2キャンパスにある。

USSHは国家大学なので、学費や生活費用は安価である。現地の通貨はドンで100円=23,658VND為替レートである(2013年1月)。時差は日本より2時間遅い。

6.住所

University of Social Sciences and Humanities, 10-12 Dinh Tian Hoang Street,
District 1 Ho Chi Minh City, VIETNAM

メーファールuang大学 (Mae Fah Luang University) <http://www.mfu.ac.th>

1. 所在地

タイ王国チエンラーイ県チエンラーイ郡に所在。

バンコクから北に830キロ、タイ王国の北端に近いチエンラーイ県の県庁所在地であるチエンラーイ市から車で30分ほどの丘陵地帯にある。

2. 大学の概要

1998年9月25日にソクラーナカリン王母殿下を中心としたタイ王室の後援のもとに開学した新しい国立大学である。12平方キロメートルの広大な敷地に美しい校舎が並ぶ風景はタイ離れした独特の趣をもっている。学部数9学部、学生数7千人余り、教員数250人余り、職員数500人を擁する、タイ王国では中規模の大学である。



3. 学部と専攻

次の9学部よりなっている。本学と関係ある学部の専攻も加えておく。講義は基本的に英語で行われる。

教養学部 English

- Business Chinese
- Thai Language and Culture
- Teaching Chinese Language (5 year programs)
- Social Sciences

理学部

経営学部 Accounting

- Economics
- Tourism Management
- Hospitality Industry Management
- Business Administration
- Natural Resources and Environmental Management

情報技術学部 Computer Science

- Software Engineering
- Computer Engineering
- Management of Information Technology
- Multimedia Technology and Animation
- Information and Communication Engineering
- Strategic Management Information System Plan A1
- Strategic Management Information System Plan A2, B

農学部

美容科学部

看護学部

健康科学部 Public Health

- Applied Thai Traditional Medicine

- ・ Physical Therapy
- ・ Health Care Service (Diploma) 2 years

法学部

4. 留学の期間

前期は6月上旬に始まり10月上旬に終わる。

後期は11月上旬に始まり3月上旬に終わる。

3月末から夏期講座期間となる。4月、5月はタイ王国の過酷な夏である。

通常、名桜大学からの留学は4月から1ヶ年である。

5. 留学に要する費用

年間授業料は無料（相互免除）。

海外旅行傷害保険は約12万円。

チェンラーイ空港までの迎えあり。

航空運賃は約10万円。

毎月の食費などは、1万5千円ほどで充分。

6. 認定科目

「東南アジアの政治と社会」「東南アジアの歴史と文化」「異文化コミュニケーション論」「比較思想論」「比較芸術論」、その他本学で開講されている科目とほぼ同じ内容をもつメーファールァング大学での科目。

7. 主な手続き

名桜大学が出した留学申請にしたがってメーファールァング大学が入学許可書を送付するので、それをもって各自ビザの申請を行う。事前にパスポートを取得しておくこと。

サイアム大学

(Siam University)
<http://www.inter.siam.edu/>

1.所在地

タイ・バンコク都のパーシーチャルーン区にある私立大学である。
バンコク都内での交通は便利である。
周囲には歓楽地帯などはなく、落ち着いた安全な地域にある。

2.大学の概要

1965年設立。1986年に四年制大学として現在の名称となった。

10学部と修士課程、博士課程を有する、タイでは中堅の大学である。また、タイ語による講義を行う学部以外に、英語による講義を行う国際学部（経営学科、ホテル観光学科）と、同じく英語によって講義を行う国際大学院（経営学専攻、情報工学専攻）がある。

世界48か所以上の大学と学術交流協定を結び、交換留学生の派遣受け入れを行っている。日本では、岩手大学、立命館大学、東海大学などと協定を結んでいる



3.学部

工学部、理学部、看護学部、薬学部、経営学部、法学部、マスコミ学部、教養学部、情報技術学部、インターナショナルプログラム

4.留学の期間

前期：6月上旬～10月上旬 後期：11月上旬～3月上旬

5.留学に要する費用

年間授業料は無料。(名桜大学への学費のみ)

海外旅行傷害保険は約12万円。

年間住居費は有料

サイアム大学には留学生用学生寮がないが、大学近くのアパートを探してくれる。広さ10畳程度、家具、エアコン、バス、トイレ、電話などがついて、一か月5000バーツ（1万3000円ほど）かかる。

スワンナプーム空港までの迎えあり。航空運賃は約10万円。毎月の食費などは、1万5千円ほどで充分。

食費は大学の食堂や近くの普通の食堂で1日300円ほどでまかなえる。タイのアパートはキッチンがない場合がほとんどなので、原則的に外食か惣菜を買ってきて家で食べるという形式になる。1か月1万円ほどあれば余裕をもって暮らせるはずである。

7.認定科目

「東南アジアの政治と社会」「東南アジアの歴史と文化」「異文化コミュニケーション論」「比較思想論」「比較芸術論」、その他本学で開講されている科目とほぼ同じ内容をもつサイアム大学での科目。

8. 主な手続き

名桜大学が出した留学申請にしたがってサイアム大学が入学許可書を送付するので、それをもって各自ビザの申請を行う。事前にパスポートを取得しておくこと。

年度末に選抜試験を行うので、手続きが春休みになる。手続きを終えるまですぐに大学に来られるような態勢にしておくこと。

マラヤ大学

(University of Malaya)
<http://www.um.edu.my>

1.所在地

マレーシア国、クアラルンプール市

2.大学の概要

国立大学であるマラヤ大学はマレーシアで最も古い最高学府で、マレーシアの最大都市で前首都であるクアラルンプールに位置する。歴史的には、1905年に医学部が設立され、1962年に現在のシンガポール国立大学と現在のマラヤ大学に分かれた。

メインキャンパスはクアラルンプールの南西に位置し、広大なキャンパスを持つ。



3.学部、大学院

様々な分野で修士課程と博士課程を持つ。学部は以下の通り。

◇人文・社会科学部 ◇環境建築学部 ◇会計学部
◇コンピュータ科学・情報技術学部 ◇歯学部 ◇経済経営学部 ◇教育学部
◇工学部 ◇言語学部 ◇法学部 ◇薬学部 ◇化学部 の12 学部。

4.学生数と教員数

2013年の記録で学部生は11,989人、大学院生は8,094人である。外国人留学生は学部生698人と大学院生は2,497人である。ほとんどの学生は13の大学住居区に住んでいる。教員数は、6,150人である。

5.生活状況

マラヤ大学は、留学生にとっては多民族の刺激的な環境である。学生はマレー系、中国系、インド系などから構成され、文化や宗教は多岐に渡る。

大規模な大学にも関わらず、キャンパスの広大さと緑のおかげで、雰囲気はリラックスしている。クアラルンプールは中心街に古いチャイナタウンやインドタウンなどの多種の民族が居住すると共に、モスクが見えるマレー人の住居区がある。さらに中心街には現代的なショッピング街や映画館などがある。

生活費は、他の南西アジア諸国よりは高い傾向にあるが、沖縄や日本の他府県と比べると安価である。キャンパスでの食事は、手頃な価格である。

6.授業料

学部の留学生の学費：1,826USドル

(現地貨幣は、リンギット)

ハサヌディン大学

(Hasanuddin University)
<http://www.unhas.ac.id>

1.所在地

インドネシア国、南スラウェシ州、マカサル市



2.ハサヌディン大学の概要

大学の教育レベルが高く、インドネシアで五つの名門大学の一つで、東部インドネシアでは最上位の大学である。インドネシアの首都に比べると生活費は安い。留学生や国際交流の活動などのニーズによって、様々な語学プログラムを提供している。インドネシアでは二つの季節があり、夏と雨季で、気温は17℃～30℃、年間を通して温暖である。

3.ハサヌディン大学の学部と学生

1) 14学部(93の学科)

経済学部、法学部、社会政治学部、文学部、工学部、医学部、歯学部、公衆衛生学部、農学部、数学・自然科学部、畜産学部、海洋・漁業学部、森林学部、薬学部。

2) 大学院博士課程

40のプログラムを持つ。

3) 学生数

学生数は25,000人(学部と博士課程を含む)で、また、留学生数(医学部の国際プログラム)は236人である。

4.海外交流協定校

日本の協定校 (13の大学)

名桜大学、京都大学、千葉大学、佐賀大学、龍谷大学、慶応義塾大学、愛媛大学、宮崎大学、広島大学、九州大学、岡山大学、富山医薬大学、東京海洋大学。

5.言語プログラム

TOEFL(Paper-based)が500点以上、またはIELTS5.5点以上

一般総合英語コース

学問目的英語コース

インターンシップ・演習目的英語コース

他の言語プログラムは外国人のためのインドネシア語コース

6.大学年度

8月に前期開始／1月に後期開始

7.科目の単位

学 部：4年間：160単位

大学院：2年間のプログラム

8.年間学費・生活費

年間授業料 100,000円(医学部は異なる)

年間住居費 120,000円

航 空 賃 120,000円(日本—ジャカルタ往復)

生 活 費 10,000円/月(人により異なる)

9. 留学の主な手続き

入学申込書の提出→入学試験→申込許可書→授業料支払→入学許可書→ビザの申請→出発

マニラ大学

(University of Manila)
<http://www.um.edu.ph/>

1.所在地

フィリピン国、マニラ市

2.大学の歴史とミッションステートメント

この私立大学は1913年に5名の大学生によって設立された。大学の開学以来、3つのモットーは変わっていない、“Patria, Scientia et Virtus”である。このモットーに基づいて大学のミッションステートメントは、「マニラ大学は国への愛、科学への愛、美徳への愛を教える」となっている。



3.学生と教職員

学生数は、約11,000人で、男子学生5,565人、女子学生4,388人となっている。教職員は、約800人である。

4.学部やコース

教育、公衆管理、経営管理、法律、ガイダンス、歴史、政治科学、カウンセリング、会計学、工学、都市計画、犯罪学、外交、コンピュータサイアンス、ホテルとレストラン経営、社会学、英語、小学校教育などに学部やコースを持つ。

5.英語の必須能力

マニラ大学のコースは英語で教えられている。通常の学部の講義に参加できる十分な英語力がない場合は、大学付属の語学学校に入学しなければならない。

6.教材と教科書

いくつかの講義は教科書を必要とするが、日本の金額に比べると安価で、たいてい1冊につき200円程度である。

7.宿泊施設や食事

マニラ大学は、名桜大学生のために学生寮を用意できる。寮費は月で約20,000円である。大学はホームステイの斡旋はしておらず、ホームステイやアパートへの宿泊は勧められない。

名桜大学からの留学生は大学カフェテリアで食事を食べる方法と、近くのレストランや市場で食事をする方法を選べる。

8.クラブやサークル

マニラ大学のクラブのほとんどはスポーツ関係である。留学生に人気のあるクラブは、バレーボールやバスケットボールクラブ、チアリーダー、ダンスクラブである。

9.イベントやコンテスト

人気のあるイベントは、学内のスポーツ大会やダンスや合唱コンテストなどである。

セントラル・ランカシャー大学 (University of Central Lancashire) <http://www.uclan.ac.uk/>

1.所在地

英国、プレストン、ランカシャー

2.大学の歴史と背景

セントラル・ランカシャー大学（以下、UClanと略する）は1828年に設立された。大学は様々な校名の変遷を経て、1992年に現在の公立大学の名称に落ち着いた。UClanは英国で5つの最も大規模かつ総合的な大学の一つである。

大学のモットーは、“From the Earth/Ground to the Sun”で多岐に渡るコースを提供している。



3.学生数や施設

UClanの学生数は約35,000人で、その内訳は27,000人が学部生で、8,000人が大学院生である。大学の「21世紀学生ユニオン」(21st century Student Union)にはコーヒーショップやパブ、映画館、小売店、書店、コピー室、大学内にラジオ局などがある。大規模校であり、プレストンの町全体に施設が広がっている。

4.UClanの留学生

ヨーロッパ、アジア、北米、南米地域の100以上の国からの留学生が学んでいる。留学生の出身国は多岐に及ぶが、アジアでは特に中国からの留学生が多い。

5.学部入学の英語能力条件と手続き

UClanでのコースはすべて英語で教えられている。英国の大学やUClanへの留学はIELTS、TOEFL、TOEIC、Michigan testなどの国際的に認知度の高い留学生用英語標準能力テストを受験し、テストスコアを留学手続きの書類として提出しなければならない。学部に入學できる英語力が無い場合は、大学の語学学校コースで学ぶことになる。

6.大学の語学学校コース

具体的には留学生用基礎コース (International Foundation Program) への英語能力条件はTOEFL (iBTで50点以上、CBTで150点以上)、IELTSで4.5以上となっている。

留学生修了コース (Certificate of Achievement) は中級・上級 (Advanced or Intermediate) があり、クラス振り分けのテスト (placement test) で振り分けられる。そのコースの英語能力条件は、TOEFL (iBTで35点以上、CBTで115点以上)、IELTS 3.5以上である。

7.留学期間

8月後半から翌年の6月頃まで

8.宿泊施設

UClanは留学生のために宿泊施設確保を支援している。派遣留学が決定したら、早急にUClanに連絡をして、宿泊施設の申し込みをする必要がある。大学寮は大学外の宿泊施設より安く、UClanの学生はもとより多くの留学生が入居しており、インターネットは使い放題という学習しやすい環境が整っている。

9.学費

学費：相互免除のために、名桜大学への授業料払い込みのみで良い。

大学寮の宿泊：(例)

Cluster Flats 42週契約 £ 71.96 (ポンド)／週

En-suite ClusterFlats 42週契約 £ 82.95 (ポンド)／週

海外旅行傷害保険：約11万円

航空運賃：約15万円

その他、小遣いなどが必要である。

10.その他

- ・留学生オリエンテーションのために、講義が始める4週間前にUClanに到着することが望ましい。
- ・留学の手続きの前に、TOEICの試験を受験することを勧める。

ハワイ大学ヒロ校

(University of Hawaii at Hilo)
<http://www.uhh.hawaii.edu/>

1.所在地

米国 ハワイ州 ヒロ市

2.ハワイ大学ヒロ校の概要

ハワイ大学ヒロ校キラウエア火山で有名なハワイ島に位置し、天文学や教育学、ハワイアンスタディで実績のある大学である。ハワイと日本の時差は19時間(夏時間)である。ハワイ大学ヒロ校はハワイ州の州立大学の1校で、ハワイ島で唯一の4年制大学である。ヒロ市は沖縄県名護市の姉妹都市で、ハワイ州の州都ホノルルからは飛行機で、45分程度を要する。



同大学の立地するヒロ地区はハワイ島の中心地区で人口約45,000人を有しており、平均気温は夏季(5月~10月)29.4℃、冬季(11月~4月)25.6℃で沖縄より温暖であるが、年間降水量3,276mmと雨の多い熱帯気候である。日系人や日本人観光客の多いハワイは日本語が通じると誤解されがちであるが、観光客の多い一部の地区を除いて日本語は殆ど通用しない。

3.学部と学生

学生は約4,000名。

Bachelor of Arts 人文学士

Bachelor of Science 理学士

Bachelor of Business Administration 経営学士

Bachelor of Science in Nursing 看護学士

Master of Arts 人文修士

Master of Education 教育修士

Master of Science 理学修士

Doctorate (Ph.D)

Doctor of Nursing Practice 看護博士

Doctor of Pharmacy 薬学博士

36の学部専攻、6の修士専攻、4つの博士専攻を持つ。

4.語学学校 (English Language Institute)

ハワイ大学ヒロ校では、大学付属の英語学校を設置していない。学部教育の一環としての英語コースのみの提供である。TOEFL (paper-based:500点、iBT61点)または (IELTS5.5) 以上に満たない場合は、留学生向けの英語クラスを受講しながら一般クラスを受講することとなる。

クラスとレベル

Advanced level

ESL 081 Academic Communication	3 credits
ESL 082 Intermediate English Grammar	3 credits
ESL 083 Introduction to Academic Reading	3 credits
ESL 084 Intermediate Composition	3 credits

High Intermediate Level

ESL 071 Basic Communication Skills	3 credits
ESL 072 Basics of English Grammar	3 credits
ESL 073 English Reading Skills	3 credits
ESL 074 Introduction to Composition	3 credits

Intermediate Level

ESL 061 Speaking and Listening in English	3 credits
ESL 062 Essentials of English Grammar	3 credits
ESL 063 Basics of Reading in English	3 credits
ESL 064 Preparation for English Composition	3 credits

5. 留学の期間

1年のコースの場合、38週間程度が派遣の期間となる。時期としては8月下旬から翌年の5月までの期間の予定である。

6. 年間授業料及び住居費、他諸費(2012年の場合)

(日本円での換算は為替レートにより変動があります。また、年により授業料や諸経費に変更があります)

年間授業料(2学期)：18,000 USドル

その他手数料等(2学期)：452 USドル

年間住居費(学生寮、2人部屋、2学期)：5,000 USドル(部屋のタイプによる)

年間食費(学食プラン利用、1週9食、2学期)：4,000 USドル(食事プランによる)

小計：27,452ドル

その他：海外旅行傷害保険：約12万円

(危機管理保険は大学が負担)

航空運賃：約18万円

(ビザ手続き経費、小遣いや旅行費用、冬休み期間中の住居費・食費等は除く)

7. 住居

通常は、学内の食事付きの寮 (on campus housing) を利用する学生が多い。沖縄に比較すると学外のアパート家賃は高めである。

8. 留学手続き書類等

- 1) 推薦書(大学から)
- 2) 入学願書
- 3) 留学生への補足資料(別紙)
- 4) 銀行残高証明書(35,712 US \$以上、2セメスター)
- 5) 成績証明書(英語)
- 6) パスポートの写し
- 7) 英語成績(TOEFL, IELTS)
- 8) 住居申込み用紙 等

注) 詳しくは学生課国際交流係か留学担当教員に確認する。

ウーロンゴン大学

(University of Wollongong)
<http://www.uow.edu.au/>

1.所在地

オーストラリア国 ニューサウスウェールズ州 ウーロンゴン市

2.ウーロンゴン大学の概要

南半球のオーストラリアは治安も良く、生活費は安価で、大学の教育レベルも高く、時差もほとんどない（夏時間2時間の時差、冬時間1時間の時差）。



同大学は伝統校と呼ぶより、革新的な大学で常に時代に適応したプログラムを提供し、語学学校（UOWカレッジ）でも学生のニーズに応じた様々なプログラムを提供している。オーストラリア第一の都市、シドニーにも近距離（約80キロ）にある。気候は一年を通じて乾燥しており、夏は木陰に入れば涼しく、冬は雪が降ることはない。留学生も多く、国際性の高い大学である。

3.ウーロンゴン大学の学部・大学院と学生

1) 学部（9学部）及び大学院

人文学部、商学部、創造芸術学部、教育学部、工学部、健康・行動科学学部、情報学部、法学部、理学部である

2) 学生数

在学生は約、28,000名で、その内学部生が約19,000名である。140カ国以上から留学生が学んでいる。

3) キャンパス

オーストラリア国内に7つのキャンパス、国外（ドバイ）に1つのキャンパスを持つ。

4.UOWカレッジ(附属語学学校)の概要

コースと他のプログラム

①TOEFL (paper-based) が550点（またはIELTS 6.0）以上に満たない場合は、UOWカレッジに入学して、学部に進む語学力が身につくまで在籍しなければならない。

②一般的に「総合英語コース（General English）」に入学する。TOEFLの点数が550点以下の場合、このクラスで英語の4技能やコミュニケーション中心の授業を行うのが普通。

③他に「学術目的英語コース」（English for academic purposes）や「大学準備英語コース」（English for tertiary studies）、「英語プラス学部（English plus Uni）」、「スタディツアー&インターンシップ」（study tour & internship）などのコースが希望により選択できる。

④レベルに応じて違うクラスに配置される。

⑤講義は、スピーキング・リスニング、IELTS対策、エッセイライティングなど。

5.留学の期間(2013年の例)

1年のコースの場合、42週間の派遣となる。(4月中旬から翌年の2月までの期間)

4月8日, 2013年～5月17日(6 週間) 講義の開始

5月20日～6月28日、7月8日～8月16日、8月19日～9月27日

9月30日～11月8日、11月11日～12月20日、1月6日, 2014年～2月14日

7.年間授業料及び住居費、他諸費(2012年の参考)

(日本円での換算は為替レートにより変動があります。また年により授業料や諸経費に変更があります)

参考(ウーロンゴン大学に支払う諸経費)

1. 年間授業料(2学期、42週間):6,560AUドル/学期×2=13,860 AUドル
2. 年間住居費(42週間、ホームステイ・平日朝、晩2食、土日3食付):
245AUドル/週×45(2週間の休みを含む)=11,025 AUドル
3. その他費用:①年間現地留学生保険:380 AUドル
②空港送迎費:100 AUドル ③ホームステイ手配手数料:209AUドル
-----総計:25,574 AUドル

- ①往復航空券購入費(約18万).....学生負担
- ②海外留学傷害保険加入費(約12万円).....学生負担
- ③危機管理保険加入費(約5万円).....大学負担
- ④旅券・ビザ申請費その他.....学生負担
(ビザ申請の健康診断は、平成24年より福岡、大阪、東京、札幌などの都市に限られている)
(ビザ手続き経費、小遣いや旅行費用等は除く)

8.住居

一般的にはホームステイを利用するが、食事付きの寮(Campus East)を利用することもできる。
ホームステイと寮の費用はほぼ同額。

9.認定科目

現地の大学で優秀な成績を収めた学生は次の科目などが単位認定される。認定される科目は個人によって異なる。

(単位認定の例)

「高等オーラルコミュニケーション」「高等リスニング」「高等英語購読」「高等英作文」
「異文化コミュニケーション」「ディベート」「通訳技法」「地域文化演習」「現地実習」など

11.留学の主な手続き

入学申込書の提出(本人)→申込許可書 offer of admission(ウーロンゴン大学)→授業料の支払い(本人から名桜大学へ)→入学許可書 COE(ウーロンゴン大学から)→ビザの申請(本人)→出発(ホームステイの申し込みも早めに行う)

サウスイーストミズリー州立大学

(Southeast Missouri State University)
<http://www.semo.edu/>

1.所在地と歴史・概要

米国の中西部のミズリー州の南部に位置する同校は、1873年に創設された歴史のある州立の伝統校である。教育・研究内容は非常に広いカリキュラムを提供しており、少人数教育が方針で50名以下のサイズのクラスが95%であり、研究よりインターンシップなどの実践的な教育に力を入れている学部中心の大学である。

特に経営学と幼児教育学は注目されている分野である。約156の学士課程と57の修士課程を持つ。在 student 数は約11,000名で、その内

留学生は約700名で、日本人学生は約50名である。教員数は491名である。4年連続でミズリー州で最も安全な大学として、表彰されている(以上2012年データ)。中部の大都市セントルイス市の南約160キロに位置し、人口が約3万7千名の小さな町であるケープジラドー市(Cape Girardeau)にあり、ミシシッピ川がすぐ近くに流れている。大学のマスコットはレッドイーグルである。



2.学部・大学院

ビジネス学部 (Harrison College of Business)

教育学部 (College of Education)

健康福祉学部 (College of Health and Human Services)

リベラルアーツ学部 (College of Liberal Arts)

科学・数学学部 (College of Science and Mathematics)

工学部 (School of Polytechnic Studies)

大学教育学部 (School of University Studies)

芸術・演劇学部 (Holland of School of Visual Performing Arts)

文学修士課程 (Master of Arts)

経営学修士課程 (Master of Business Administration)

公共行政学修士課程 (Master of Public Administration)

看護学修士課程 (Master of Science in Nursing)

3.語学学校

(Intensive English Programs) サウスイーストミズリー州立大学に所属する

1) 秋学期 (Fall semester)

1st 8週間 (August 20-October 10) 2nd 8週間 (October 17-December 14)

2) 春学期 (Spring semester)

1st 8週間 (January 14-March 6) 2nd 8週間 (March 11-May 10)

3) レベル (4レベル)

Beginningレベル、Low-Intermediateレベル、High Intermediateレベル、Advancedレベル

*Advancedレベルに配置されると、来学期は学部自動的に入学する。

*毎月開かれるiBTのテストで61点以上修得すると学部の講義が受講可能である。

4) クラス

Reading, Grammar (Class Five) Listening & Speaking Writingをレベル別に分けて提供している。

5.経費

(2012年秋学期から2013年春学期、9カ月コースの例、経費は年度ごとに変更します)

学費と大学費用(秋学期、春学期)	13,985USドル
教科書費(学部では教科書のレンタル350USドルが可能)	
寮費(Cheney Hall)	4,250USドル
食事(1週に19食プラス)	2,230USドル
個人経費	900USドル
健康保険(強制、12か月間)	924USドル
(以上、サウスイーストミズリー州立大学からの資料)	
合計	20,639USドル

(諸費用)

航空運賃	約18万円
海外傷害旅行保険	約12万円
クリスマス休みのホームステイ	約10万円(選択できる)

6.寮

学生の約3,000名が学生寮に住んでおり、人気がある。

9つの学生寮があり、寮により施設が異なるが、階により男女が分かれるCommunityタイプと男女が共用のSuiteタイプがある。寮には24時間使えるコンピュータ室や、スタディルームも数多くあり学習に専念できるようになっている。また、ほとんどの寮がガードでの入室となっており、セキュリティが厳しく、寮の中でのパーティや飲酒は固く禁止されている。

(学生寮は以下)

Cheney Hall, Myers Hall, Dearmont Hall, Henderson Hall, Vandiver Hall,
Towers East & South, Towers North & West(新入生はTowersに入寮する場合が多い),
Merick Hall, Candlewood & Henderson Hall

注) 週末にはショッピングセンター行のバスが運行している。

7.他の主な施設

図書館：午後11時まで開館しており、多くの書籍やジャーナルの蔵書がある。

アクアセンター・レクリエーションセンター：プールやロッククライミング、様々な運動施設は人気がある。

フットボール場やサッカー場などは広大な面積を持つ。

カフェテリア：さまざまな場所にカフェテリアがあり寮のミールカードも使える。

2012年秋学期にはStar Bucksがオープン。

ジョージフォックス大学 (George Fox University) <http://www.georgefox.edu/>

1.所在地

米国 オレゴン州 ポートランド市

2.大学の概要

ジョージフォックス大学はキリスト教を大学の理念として創設された伝統的な大学である。約3,400人の学生が大学に所属しており、45の学部コースと11の修士課程コース、7の博士コースを提供している。



3.現地での学習と生活の様子

- ・基本的にNative speakerと寮にルームメイトとして生活する(食事つき)。
- ・現地の文化や生活(cultural activities)を経験できる活動がある。

4.入学基準

TOEFL (iBT 70以上) または、IELTSで6.0以上獲得した学生は、学部に入学することができる。
その基準に達しない学生は語学学校(ELI)の講義を受講しなければならない。

5.語学学校(ELI)の講義

(1) クラスのレベル

- ・クラスは最初のplacement testにより次の4つのクラスに分かれる。
 - Level A(beginning/low intermediate)
 - Level B (intermediate)
 - Level C(advanced)
 - Level D (high advanced)
- ・クラスは9月から12月(秋学期)と1月から5月(春学期)で、春学期に変わる時に上級クラスに進級できる。

(2) 次の条件を満たすと学部の講義を受講できる

1. ELI writing testで4.0以上を獲得する
2. ELIのすべてのクラスで成績をC以上獲得する
- 3.指定された学部のクラスでC以上(70%以上)の成績を獲得する
4. 英語の能力と学業成績においてELIのスタッフから推薦を受ける

グアム大学

(University of Guam)
<http://www.uog.edu/>

1.所在地

米国 グアム準州

2.グアムの概要

大学が立地するグアムは、アメリカ合衆国の準州であり、英語と現地語(チャモロ語)が公用語である。

年間平均気温は約26℃で、年間を通して高温多湿の海洋性亜熱帯気候に属する。1月から5月は乾季で、6月から12月は雨季にあたる。通貨はアメリカドル(USドル)で商品もアメリカ本土と変わりはない。

日本との時差もほとんどない(1時間の時差)。



3.グアム大学の学部

1) 学部(5学部)及び大学院

5学部で35の学士号プログラム、5学部で修士課程16専攻を提供している(2012年資料)

2) 学部名

リベラルアーツ・社会科学部、自然科学・応用科学部、経営・公共行政学部、教育学部、看護・保健学部。

4.グアム大学 English Language Institute(付属語学学校)の概要

1) コース名: 14週間のIntensive English Program(秋学期、春学期、夏学期)

2) コースと他のプログラム

- ①TOEFL(paper-basedで500点、internet-basedで61点)に満たない場合は、グアム大学 English Language Institute(ELI)に入学して学部入学基準の語学力が身につくまで在籍しなければならない。
- ②一般的に「14-Week Intensive English Program(14週の英語プログラム)」に入学する。TOEFLの点数が500点以下の場合、このクラスで英語の4技能やコミュニケーション中心の授業を受講する。
- ③レベルに応じて違うクラスに配置される
- ④講義内容は、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング、スタディ・スキルなど。

5.留学の期間

秋学期(9月中旬から12月中旬、14週間)、春学期(1月初旬から4月初旬、14週間)、夏学期(5月初旬から8月初旬、14週間)である。

スプリングフィールド大学 (Springfield College) <http://www.spfldcol.edu/>

1.所在地

アメリカ、マサチューセッツ州、スプリングフィールド

2.大学の概要

1885年に設立。もとはYMCA (Young Men's Christian Association) で活躍できる人材を育成するために設立された男女共学の私立大学である。

モットーである“Spirit, Mind, and Body”に基づき専門家養成を行なっている。

1891年にネイスミス博士によって考案されたバスケットボールの生誕地 (The Birthplace of Basketball) として有名である。バスケットボール殿堂 (Basketball Hall of Fame) の本部が設置してある。



3.キャンパス

学生数は、学部、大学院を含め約5,390人(2011年現在)、敷地面積は約0.68km²程であり、小中規模の総合大学である。

大学全体に占める留学生の割合は非常に少なく、日本からの留学生が一番多い。学内には、パuffスタイルの食堂、売店、アリーナ、プール、フィットネスクラブ、全天候型トラックなどの施設があり、自然豊かなキャンパス内での生活が可能である。



4.専攻、コース

体育、健康、アスレティックトレーニング、理学療法、物理療法、スポーツマネジメント、ダンス、栄養学、心理学、米国史、生物学、ビジネス、コンピュータサイエンス、教育、法律、英語、歴史、数学、社会学などの専攻がある。

5.英語の必須能力

学部入学のために必要なTOEFLスコアは、525点(PBT)である。

6.学費、宿泊施設

学費は、約31,000USドル/年(2011-2012年現在)である。キャンパス内にあるドミトリーの費用は、約10,500USドル/年(2011-2012年現在)である。

7.スポーツ活動

NCAA (National Collegiate Athletic Association) のディビジョン3に所属している。バスケットボール、野球、アメリカンフットボール、バレーボール、体操、ラクロス、サッカー、テニス、水泳等の競技がある。



ロング・アイランド大学
(Long Island University)
<http://www.liunet.edu/>

1.所在地

米国、ニューヨーク州、ニューヨーク

2.歴史と概要

1926年に設立された私立総合大学で、ニューヨーク中心街周辺に7カ所のキャンパスを持つ。留学生の多いLIU POSTはニューヨーク市から約25マイルの距離にある。LIU POSTはマンハッタン市から約50分、JFK国際空港からは約30分で到着する。

約85の学士課程、62の修士課程、3つの博士課程のプログラムを持つ。

40カ国(留学生は約700名)から4,600人の学士課程の学生と3,300人の大学院の学生が学んでいる。LIU POSTは米国内で最も安全な大学としてランク付けされている。



3.学部

教育・情報工学学部、リベラルアーツ・サイエンス学部、経営学部、健康・看護学部、ビジュアル・パフォーマンスアーツ学部。

4.語学学校(English Language Institute)の期間と学費(2013年3月現在)

春学期

期間：1月22日～5月7日(2013年)

学費：4,200USドル

夏学期

期間：7月8日～8月27日(2013年)

学費：2,500USドル

5.住居

留学生はキャンパス内の寮に住んでいる。キャンパス内には、居住者用に2カ所の食堂がある。

6.入学に必要な英語能力(学部により異なる場合がある)

学部 iBT 71点 IELTS 6.0

大学院 iBT 79点 IELTS 6.5

IV. 留学前・留学後の諸手続きについて

はじめに

留学期間中に修得した単位は、授業科目区分ごとに本学において修得した単位とみなしています。

単位認定は、諸委員会の審議を経て認定が行われます。各自の責任において必要とされる資料を用意し、指導教員と相談してください。

留学前

◆ 留学前に単位及び留学中の教育支援について確認すること

派遣先大学において修得した単位を帰国後に本学の単位として単位認定を希望する場合には、次の点に留意が必要です。

- ①既修得単位と未修得単位を把握する。
- ②教職課程を希望する学生は、留学により教職課程に係る科目の履修が遅れること並びに教育職員免許状の申請時期が遅れることを理解し留学に臨むこと。
- ③派遣先大学において履修する科目の内容について、留学前に必ず指導教員と相談し、単位認定の可能性と帰国後の履修方法について十分理解する。
- ④教務課備え付けの「留学中における『演習』履修指導計画」（別紙様式）を記入し、留学期間中の演習等を登録した「登録カード」と併せて提出する。

留学後

◆ 単位認定の手順について

- ①帰国後、速やかに派遣先大学の成績証明書と本学の成績通知書を持参のうえ指導教員と単位認定について相談を行い、単位認定（案）を作成する。
- ②指導教員をとおり作成された単位認定（案）を所属する学科（専攻）の学科会議（専攻会議）に諮り承認を得る。
- ③学科会議（専攻会議）において承認された単位認定（案）を所属する学部等の教務委員会に諮り承認を得る。
- ④学群(学部)等の教務委員会において承認された単位認定（案）が学群(学部)等の教授会に報告される。
- ⑤学群(学部)等の教授会において報告された単位認定に係る学長決裁が教務課から手配される。
- ⑥学長決裁後、教務課から対象学生に対し単位認定通知書が郵送で手配される。

参 考

休学をして私費留学する場合、留学している期間は本学の在籍期間とならないため、私費留学先において修得した単位は認定されません。

なお、休学した期間は本学の在籍期間とならないため、休学期間分(半年休学した場合には半年)卒業が延期されます。

名桜大学派遣留学候補者選考基準

(平成24年12月26日制定)

(趣旨)

第1条 この基準は、名桜大学(以下「本学」という。)派遣留学の候補者選考に関し、必要な事項を定める。

(選考基準)

第2条 協定大学への派遣留学に係る選考に関し、以下の要件を満たすものとする。

- (1) 留学出発時において、本学に1年以上在籍した者。なお、1年次で応募する学生は1年次後期の終了後に出発する。
- (2) 留学出発時において、修得単位数が1個学期につき平均16単位以上の者
- (3) GPAが2.50以上の者
- (4) 留学目的が明確で、留学による教育効果が期待される者
- (5) 心身ともに健康で、留学生活に耐え得る者
- (6) 保護者の承諾が得られる者
- (7) 留学に必要な費用を用意できる者
- (8) 応募時において休学していない者
- (9) 別表第1の協定大学に派遣される学生は、応募時において、または受験時に次の語学力の基準に達すること

(改廃)

第3条 この基準の改廃は、国際交流委員会及び教育研究審議会の議を経て、学長がこれを行う。

附 則

この基準は、平成24年12月26日から施行する。

附 則

この基準は、平成26年4月1日から施行する。

ポルトガル語圏	ロンドリーナ州立総合大学 (ブラジル)	<p>応募時に次の試験に合格していること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポルトガル語検定準初級以上 <p>上記の検定試験に合格していない場合は、上記のポルトガル語検定試験に準じた学内試験で70%以上を得点すること</p>
スペイン語圏	産業社会科学大学 (アルゼンチン)	<p>応募時に次の検定試験に合格していること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スペイン語検定試験6級以上 <p>上記の検定試験に合格していない場合は上記のスペイン語検定試験に準じた学内試験で70%以上を得点すること</p>
タイ語圏	メーファールアング大学 (タイ)	<p>応募時に次のいずれかの条件を満たすこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語検定準2級以上 ・TOEIC 395点以上 ・TOEFL iBT 40点以上 ・IELTS 4.0以上
	サイアム大学 (タイ)	<p>応募時に次の条件を満たすこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイ語検定5級以上 <p>上記の検定試験に合格していない場合は上記のタイ語検定試験に準じた学内試験で70%以上を得点すること</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・パシフィコ大学 (ペルー) ・ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学 (ベトナム) ・ハサヌディン大学 (インドネシア) ・マニラ大学 (フィリピン) ・ジョージフォックス大学 (米国) ・ロングアイランド大学 (米国) ・グアム大学 (米国) <p>※ 他新規に協定を締結した大学</p>		原則として学生課国際交流係に確認する。

別表第1

英語圏	セントラル・ランカシャー大学（英国）	<p>応募時に次のいずれかの条件を満たすこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TOEIC 517 点以上 ・ TOEFL iBT 53 点以上（ライティングは 10 点以上） ・ IELTS 4.5 以上（ライティングは 4.5 以上）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハワイ大学ヒロ校（米国） ・ サウスイースト・ミズリー州立大学（米国） 	<p>応募時に次のいずれかの条件を満たすこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語検定 2 級以上、 ・ TOEIC 517 点以上、 ・ TOEFL iBT 53 点以上、 ・ IELTS 4.5 以上
	スプリングフィールド大学（米国）	<p>応募時に次のいずれかの条件を満たすこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TOEFL PAPER 523 点 以上 ・ TOEFL CBT 193 点 以上 ・ TOEFL iBT 69 点 以上 ・ IELTS 6.0 以上
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウーロンゴン大学（豪州） ・ ブロック大学（カナダ） 	<p>応募時に次のいずれかの条件を満たすこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語検定準 2 級以上 ・ TOEIC 395 点以上、 ・ TOEFL iBT 40 点以上、 ・ IELTS 4.0 以上、
韓国語圏	<ul style="list-style-type: none"> ・ 啓明大学校（韓国） ・ 国立済州大学校（韓国） 	<p>応募時に次のいずれかの検定試験に合格していること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ハングル能力検定試験」 5 級以上 ・ 「韓国語能力試験」 初級以上 <p>上記の検定試験に合格していない場合は上記の検定試験に準じた学内試験で 70% 以上を得点すること</p>
中国語圏	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北京連合大学旅遊学院（中国） ・ 湖南農業大学（中国） ・ 大仁科技大学（台湾） 	<p>応募時に次のいずれかの検定試験に合格していること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中国語検定試験準 4 級以上 ・ HSK 筆記試験 2 級以上または口頭試験初級以上 <p>上記の検定試験に合格していない場合は上記の中国語検定試験に準じた学内試験で 70% 以上を取得すること</p>

平成 年度 海外協定大学派遣交換留学生 留 学 願 書

平成 年 月 日

名桜大学学長 殿

氏 名 _____ 印

所 属 _____ 学科・学類

学生番号 _____ 年次

生年月日 平成 年 月 日生(西暦)

本人住所 〒 _____

連絡先 TEL. _____

保証人氏名 _____ 印

保証人住所 〒 _____

連絡先 TEL. _____



下記のとおり留学したいと思しますので、許可下さいますよう、保証人連署の上、お願いいたします。

記

1. 留学先大学名: _____
2. 留学の期間: 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
3. 留学の理由: _____

奨学金関係	図書返納	授業料納入
学生課印	図書課印	会計課印

※この願書を提出する前に各課にて確認印をもらうこと

指導教員認印
指導教員 氏 名 _____ 印

受付年月日	平成 年 月 日
-------	----------

留学許可書の送付先: 〒 _____

平成 年度 名桜大学海外協定大学派遣交換留学生 経済支弁保証及び誓約書

名桜大学学長 殿

I. 留学諸経費について

本学海外協定大学交換留学に必要な諸経費の内訳

- ①授業料1年分 … 学生負担
※留学出発以前に納入
- ②旅行傷害保険加入費 … 学生負担
- ③危機管理保険加入費 … 大学負担
- ④留学先での旅費、生活費他 … 学生負担

私は、(学生氏名:) _____ が名桜大学平成 _____ 年度派遣交換留学生として、留学することを承諾する。私は、上記留学諸経費の内訳を理解し、学生負担分の経済支弁者となることに同意する。

経済支弁者氏名: _____ 印

経済支弁者住所: 〒 _____

経済支弁者電話: _____

学生との関係: _____

II. 本学海外協定大学派遣交換留学生の厳守事項の誓約について

1. 留学に際しては、大学指定の旅行傷害保険に加入する。
2. 留学出発までに現地事情に関する情報収集や現地言語のレベルアップに努め、十分な事前準備を行う。
3. 留学期間中は、現地の法律、条例、習慣等を厳守し、本学学生としての品格を損なうことなく、謙虚な姿勢で多くを学習するよう努める。
4. 留学期間中、如何なる課外活動への参加も自己責任において安全確保に努める。
5. 留学期間中、指導教員からの指導をよく仰ぐとともに、一月に1回学生課国際交流係に近状報告を行う。
6. 留学終了後は『留学報告書』を学生課国際交流係に提出する。
7. 留学終了後は「留学報告会」等で留学生活についての報告を行う。

上記厳守事項を守ることを、ここに誓約する。

学 生 氏 名: _____ 印

保 護 者 氏 名: _____

保 護 者 住 所: 〒 _____

保護者連絡先: 自宅番号 _____

携 帯 _____

留学中における『演習』履修指導計画

標記のことについて、次のとおり申請いたします。

学科等／年次	／ 年次		学生番号	
(ふりがな) 氏 名	Ⓜ			
留学予定大学				
派遣期間	平成 年 月 日		～ 平成 年 月 日	
生年月日	昭和・平成 年 月 日(歳)		西暦 年	性別 男・女
現住所	〒 -			
	TEL:	携帯・PHS:		
	FAX:	e-mail:		
留学時の連絡先	〒 -			
	TEL:	携帯・PHS:		
	FAX:	e-mail:		
事 項				
指 導 計 画	①指導目標			
	②指導内容			
	③指導方法(授業方法)			
	④その他			

1. 指導教員は、指導内容並びに指導方法等を具体的に記入して下さい。
2. 国外留学の場合は、派遣留学生願書(写し)を添付すること。
3. 国内留学の場合は、派遣学生申請書(写し)を添付すること。

留学中における単位認定計画書

平成 年 月 日

名桜大学長 殿

所 属: _____ 学群(部) _____ 学科 _____
学生番号: _____ 年次 _____
氏 名: _____
電話番号: _____

名桜大学から留学するに際しては、下記のように履修計画をたて留学いたします。

記

派遣先大学等での授業科目	単 位	名桜大学で認定する科目	単 位

以 上

名桜大学国外派遣留学チェックリスト

名桜大学全学交流委員会

学生氏名: 学生番号:

派遣協定大学名: 派遣期間:年月 ~年月

指導教員:

協定大学担当教員名:

提出書類 学生は□をチェックする		指導教員印 (サイン)	協定大学担当教員印 (サイン)
学生課	<input type="checkbox"/> 「派遣交換留学生留学願書」		
	<input type="checkbox"/> 「交換留学生経済支弁保証及び誓約書」		
	<input type="checkbox"/> 「収入に関する証明書(源泉徴収書等)」		
	<input type="checkbox"/> 「健康診断書」		
教務課	<input type="checkbox"/> 「留学中における『演習』履修指導計画」		
	<input type="checkbox"/> 「登録カード」(1年間留学は前期と後期の両方 (半年留学は前期か後期のいずれか))		
	<input type="checkbox"/> 「留学中における単位認定計画」 (指導教員または、留学後に予定の指導教員および 協定大学担当教員と相談する) ※学生はコピーを持参しておく		

上記の学生より「留学中における『演習』履修指導計画」「登録カード」(1年間留学は前期と後期の両方(半年留学は前期か後期のいずれか))「留学中における単位認定案」を受領しました。

受領日年月日

教務部教務課 担当者名 印

上記の学生より「派遣交換留学生留学願書」「交換留学生経済支弁保証及び誓約書」「収入に関する証明書(源泉徴収所等)」「健康診断書」を受領し、確認しました。

受領日年月日

教務部教務課 担当者名 印

V. 留 学 生 体 験 記

ロンドリーナ州立総合大学(ブラジル連邦共和国)
 山本 菜衣子 国際文化研究科
 派遣期間・時期：2012年03月～2013年03月（合計12カ月）

月	火	水	木	金
	8:30～11:30 ポルトガル語		8:30～11:30 ポルトガル語	8:25～11:55 ブラジルの歴史
17:00～18:30 ポルトガル語	14:00～18:00 研究法 (大学院講義)	15:00～16:30 指導教官とのゼミ	15:00～16:30 ブラジル文化 (NECJ)	
19:15～20:30 ブラジル文化 (学部向け)		19:15～22:50 青少年教育 (社会学の観点から)	16:30～17:30 指導教官とのゼミ	

■協定大学での講義

(講義内容、1週間の講義時間、名桜の講義との違い、クラスメートの出身国)

以上は8月中旬から12月中旬までの2セメス
 ー目の時間割表です。前期のポルトガル語とブラ
 ジル文化に加えて、現地の学生と同様に授業を受
 けました。主に私は、人文科学研究所と呼ばれる
 文学部・史学部・社会学部の学生たちが集まる講
 義棟で講義を受けました。講義の多くは、事前
 に用意された参考資料を読み、それに基づき議
 論・プレゼンテーション・先生方による説明が
 行われる形式でした。宿題も多かったため、空
 き時間は宿題を行ったりしていました。また、
 大学院の講義は白熱した雰囲気を持っていた
 のが印象的で、意見を求められることも多く
 ありました。UELでは、他国の留学生と交流
 機会はありませんでしたが、18ヶ国62大学
 と国際交流協定を結んでいます。主に南米諸
 国、欧州などが挙げられています。

■留学のきっかけ

2010年の2月に中南米現地実習に参加
 しました。実際訪れたブラジルで、ブラジ
 ルの魅力に強く感銘を受けました。帰国
 後、「もっとブラジルに触れたい」と思
 い大学院に進学し、研究をスタートしま
 した。研究を進めるに際し、現地調査の
 必要性を感じブラジル留学を決意しま
 した。また、もう一つの要因は、現地
 実習の際、ペルーで母のようにお世話
 になった添乗員さんに「山本さん、お
 金はいつか戻

ってくるわ。でも、時間はもう戻ってこ
 ないから。だから今やりたいことを追
 いかけて」とアドバイス頂いたのも決
 意したきっかけのひとつです。

■現地の生活(寮・ホームステイでの生活の様子、治安、交通、買い物など)

学校の横にあるアパートに住んでいま
 した。ここには約9割、学生が住んで
 います。アパートの下には小さな売店
 もあり、日用品と食料品もあるので小
 さな買い物もできます。学校までは
 徒歩で行けますが、市街地と買い物
 へはバス(約140円)で行きます。一
 日を通し本数も多いですが、一人
 での深夜の行動は禁物です。周知の
 事実、ブラジルは治安が良くありま
 せん(ロンドリーナであっても)。ま
 た、日本人は目立ちます。すなわち
 狙われる対象にもなりかねません。

■留学体験を通して、苦しかった事や成長した点、良かった点など

当初は「言葉の壁」に悩まされました。
 しかし、友人が増えていくに連れも
 と喋りたい。と思うことで、苦痛
 ではなく意欲に変わりました。「失
 敗は成功の元」であり、たとえ間
 違ったとしても恐れずにポルトガ
 ル語を口に出して発することです。
 間違ったところで怒ったりする
 人はいません。また、皆さんが抱
 えている多くの「不安」は、私も
 ありましたが、しかし、不安を恐
 れたり、感じる必要はありません。
 現地の先生に「Saiko、分からな
 かったら分からない

と言っている。分からないことは恥ずかしいことじゃない。」と言われました。その時、分からなかったら質問すればいい。分からないから今、勉強しているんだ。と思考が少し変わりました。

■これからこの大学に留学を希望している人へのアドバイス(準備、対策、心構え、日本から持っていった方が良い物など)

・筆記用具

もちろん販売はされていますが、品揃えがあまりよくないのと割高なのである程度持参することをお勧めします。

・チャック付のバック

チャックを開けていると、「盗んでください」の提示になります。必ずバックはチャック付のものがいいです。また、お財布も長財布などは避けたほうがいいと思います。

・化粧水

現地はあまり充実していないので、女性は持っていくことをお勧めします。

※また、授業の中で必ずと言っていいほど「日本」について発表する機会があります。その際に地図、写真などを用意しておくのもいいと思います。インターネットにもありますが、なるべくなら自分のものがいいと思います。

渡航に際し私も偉そうなことは言えませんが、自分は「名桜大学の代表で留学している」ということは忘れてはいけないと思います。現地の人々は常に見ています。

ブラジル留学を今終えて——

はじめに、この渡伯に際し名桜大学とUEL、両親、多くの方の協力なくしてこの留学は実現することはなかったと思います。「感謝」の二文字では表現できない気持ちで溢れています。留学というフィルターを通じ、「己」を見つめ直し、「日本」という自国を考えさせられ、価値観を覆され、自身の気持ちと戦いました。また、多くの素敵な先生方と友人にも恵まれました。全てはプラスとなり、私の心の中に目には見えないけれど多大な財産になりました。充実していた日々であっただけに、帰国後は放心状態でした。しかし今、この留学は私にとって

「ゴール」ではなく「スタート」だと思っています。

先輩方には、帰国後も再渡伯、渡垂なされた方、各方面でご活躍なさっています。だからこそ、今私はスタートラインに立っていると思います。そして今後、この先輩方に続き、この経験を将来に生かすことが次の私の課題です。

最後に、人生の主役は「自分」です。チャンスは待っていても降ってきません。自分の目を見て、耳で聞き、肌で感じ、足を使って歩き、何を感じるかです。経験に勝るものはないと信じています。それに辿り着くのに必要なのは「意欲」ではないかと私は思います。



ウーロンゴン大学 (オーストラリア)
石川 ちひろ 国際学群語学教育専攻4年次
派遣期間・時期：2012年4月～2013年3月(合計11カ月)

■協定大学での講義

(講義内容、1週間の講義時間、名桜の講義との違い、クラスメートの出身国など)

講義時間は1日に約4時間でコースによって授業内容は違いますが、一般英語からエッセイの書き方、Reading, Writing, Speaking, Listening, Presentation, Debate等があり、これらの授業プラス週に2回のComputer LabとListening Labという主にコンピュータを活用した勉強方法と、インターネットやリスニング教材を活用したリスニングスキルを強化する授業がありました。クラスメートはアジア圏、クウェート、サウジアラビアなどの中東、フランス、ドイツなどのヨーロッパからなどともインターナショナルなクラスでした。また、英語はもちろん、お互いの言語や文化などを教えあったり、休み時間や休日にはみんなCafに行き、集まって遊んだりとても充実した毎日を送っていました。

授業は日本語で勉強する英語よりもなぜかより分かりやすく、英語が飛び交う環境にいるため徐々に耳が慣れてくるので自然と理解できてくると思います。そこが、日本で勉強するか海外で勉強するかの大きな違いだと思います。

■留学のきっかけ

もともと英語には興味があつて「留学」にも憧れがあつたものの、自分で海外に出る勇気がないという時に大学の交換留学プログラムを見て、名桜と協定校だったら心強いと思いました。その他にも、名桜大学に在学しながら留学し、あつちで取得した単位を変換することができるというプログラムも魅力的でした。また、何よりも英語を話せるようになりたいという目標と、国外に出て新境地に自分を置いて自信をつけたいという願望が強くなつたのがきっかけです。

■現地の生活(寮・ホームステイでの生活の様子、治安、交通、買い物など)

オーストラリアの治安は比較的良い方だと思います。雰囲気は沖縄と少し似ていてゆったりとしていて、現地の人たちはフレンドリーでした。

また、Wollongongは自然もあり、近くには海もあるので沖縄出身の私にはとても住みやすい環境でした。市内には無料のシャトルバスが頻りに巡回していて車がなくても不便な思いはあまりしなかったです。ま

た、電車を使えば約1時間半でシドニーまで行くことができます。物価は物によって違いますが日本とあまり差はないと思います。買い物は意外に何でも揃っています。市内には日本食のレストランやアジアショップが何店かあるので、日本の調味料や食品もそこで手に入れることができました。

■留学体験を通して、苦しかった事や成長した点、良かった点など

やっぱり最初は初めての事がいっぱい、全てが怖くて戸惑いや不安が多かったです。また、伝えたいことが伝わらず、自分の英語のレベルに気づき、すごく悔しかったです。私はできるだけ日本人と行動するのを避け、いろんな国籍の友達を作り、よく外出をするようにしました。そうすることで友達が増え、自然と英語力の向上につながったと思います。

オーストラリアで出会った友達とは今もお互いに連絡を取り合っていて私にとってかけがえのない人達です。

この留学体験は私に、改めて自分の英語力を確認する機会をくれ、多くの国際的な友達、人脈をくれ、世界観が広がったことで私の将来への選択肢を広げてくれました。

この体験は貴重な体験で、私の人生の転機になったと思います。

■これからこの大学に留学を希望している人へのアドバイス(準備、対策、心構え、日本から持っていった方が良い物など)

もし留学する前に時間があるなら、TOEFLやTOEICを受けることをお勧めします。私も留学前に勧められたけど、面倒くさいと思い何も受けずにそのまま行きました。しかし、帰国してからそれらのテストを受けなかったことに後悔しました。どんなに点数が低くても、帰国後にはどれだけ伸びたか受けるのが楽しみになると思います。



ウーロンゴン大学 (オーストラリア)
田中 光哉 国際学群語学教育専攻
派遣期間・時期：2012年3月～2013年2月(合計11カ月)

■協定大学での講義

(講義内容、1週間の講義時間、名桜の講義との違い、クラスメートの出身国など)

11ヶ月通ったウーロンゴン大学付属の語学学校では、最初にクラス分けテストがあり、自分に適したレベルの語学の学習ができました。講義は週に22時間とプログラムで決められていました。講義の特徴として、少人数クラス(約11名前後)のため、英語学習では必要とされる多くの発言の機会を学生は与えられます。語学学校に通う生徒は世界各国からいました。中でもアジアの国の人が特に多く見受けられました。

■留学のきっかけ

きっかけは、以前から強く海外に興味を持っていたのに加えて、名桜大学の交換留学生として派遣されると単位交換も行われるので、4年間で英語教員免許取得や大学卒業を目指すことができる事を知り、派遣留学生の選抜試験に応募しました。

■現地の生活(寮・ホームステイでの生活の様子、治安、交通、買い物など)

ウーロンゴンの街やその周りには広大な山や海に囲まれ、また天候も南半球独特のもので非常に毎日快適に過ごすことができました。ホームステイとの暮らしを通して、地元の生活様式や独特のなまりなど、多くの体験をすることができます。

交通の面ではウーロンゴンが無料で市内を回送するバスが頻繁にあり不自由なく買い物や遊びに出掛けることができます。治安は、日本と比べると確かに危険なところも感じましたが、英語圏(英・米・豪など)の中では安全な国の一つではないかと感じます。

■留学体験を通して、苦しかった事や成長した点、良かった点など

11ヶ月の経験は決して日本で味わえるものではなく、一瞬一瞬が真新しい経験で非常に強い刺激を受けました。英語のスキル不足は最も苦戦した一つです。座学では体感できない英語の醍醐味のようなものを身をもって感じる事が出来ました。成長したところは数えることが出来ないほどです。

その中でも自分は社会への視野を大きく広げる事が出来たと感じています。留学を終えて、さらに多くの目標や夢を持つことができました。

■これからこの大学に留学を希望している人へのアドバイス(準備、対策、心構え、日本から持っていった方が良い物など)

最低限の語学能力や現地で何を自分は学びたいかなどの準備は必要だと感じます。現地では何事にも興味をもって活発に行動してできるだけ社交的であることは、人より多くの事を学べる事を感じました。

啓明大学校(韓国)

真田 吉宰 観光産業専攻

派遣期間・時期：2012年2月～2013年12月(10カ月)

■協定大学での講義

名桜大学と協定大学である韓国、啓明大学校では入学してから交換留学の期間が終了するまでの間、韓国語語学堂に通っていました。平日の月曜日～金曜日まで一日4時間語学を学びました。クラスは10名ほどで構成されています。クラスの半分は中国人で、他にもアフリカ、東南アジアからの留学生も多かったです。



写真1：語学堂の文化体験学習の一つである韓国伝統衣装体験の時に取った一枚です。

■留学のきっかけ

韓国に留学を決めた理由は自身が在日の韓国人であるということが根底にあると思います。国籍は韓国だということも関わらず韓国語を喋ることができないという矛盾を解消したかったということが一番の理由になると思います。

■現地の生活

最初の4か月間は二人部屋の学生寮で暮らしていました。しかし、ルームメイトと性格が合わず、残りの6か月は大学の近所で一人で暮らしていました。平日はほとんどの時間を語学の勉強に費やし、他にも友人たちと交遊しに出かけることが多かったです。大学が夏休みに入ってからには日本の沖縄のような存在である、済州島に一人で旅行にも行きました。

宿泊先の予約やレンタルバイクの受付など全て韓国語のできるほど、語学も上達することができました。

■留学を通して成長できたこと

私が交換留学に訪れた啓明大学の学生の多くは、大学の講義に対して常に全力で真面目に取り組み、勤勉な方が多いと感じました。もちろん、本来学生はそうすることが当たり前だとは思いますが、留学前に私が持っていた学業に対する意識とは少々異なっていました。

周りの刺激を受けたことで現地での勉強の量も増え、そしてまた日本に帰ってきてからの学業に対する意識も大きく変わり、勉強の楽しさに気づくことができました。



写真2：筆者は留学先大学の登山部に入部しました。2泊3日でロッククライミングをしに行った時の写真です。右から二番目が筆者です

■来年交換留学に行く予定の生徒さんへ

私のような生徒からアドバイスするのはおこがましいと思いますが、あえて言わせて頂けるのであれば一つだけ言いたいことがあります。私は留学生活で一度だけ胃腸炎にかかり、5日間大学に通うことが出来なかったことがあります。嘔吐を繰り返し一人では立つこともできませんでした。そんな時に助けてくれたのは現地の学生や語学堂の先生方でした。

私は今でもその時のことを覚えております。もちろん私が異国から来たことが理由で頼る宛がなく仕方なしに助けてくれただけかもしれませんが。しかし助けてくれた背景には少なからず私がそれまでに助けてくれた人たちと信頼関係を結んできたということが言えると思います。来年、そしてまた今後留学を考えている学生の方は語学学習ももちろんですが、まずは現地での自分の居場所を探してみてください。自分が辛い時に誰にも頼れないことほど辛いことではないと思います。



写真3：留学先大学の近所にある小学校に日本の伝統遊びと沖縄について知ってもらうために半日講師としてお招きを頂いた時の写真です

啓明大学校(韓国)

喜屋武 優華 国際学群 観光産業

派遣期間・時期：2012年2月～2013年1月(合計12カ月)

■協定大学での講義

(講義内容、1週間の講義時間、名桜の講義との違い、クラスメートの出身国など)

私が韓国で取った授業は、韓国語：会話、読解、日本史、日韓の文化比較、英語：会話、リスニング、プレゼン、国際貿易摩擦などの授業でした。それぞれ週2時間ずつあり、毎回発表やPPT、ディベートがありました。みんな積極的に発表・発言するので、活気のある授業が多かったです。留学生だけの授業ではEU圏、特にフランスやフィンランドから来ている学生が半数以上いたので多文化・多言語に触れることができました。



■留学のきっかけ

英語を勉強したくて大学に入学したら英語圏に留学したいと考えていたのですが、1年次のときに学習した韓国語を深めたいと思ったことと費用の関係から、英語と韓国語の両方学べる啓明大学にこうと決めました。

■現地の生活（寮・ホームステイでの生活の様子、治安、交通、買い物など）

寮での生活は2人一部屋で、門限や点呼などもありました。外国人との共同生活ということで、多少合わない点もありましたが、不自由なく楽しく過ごすことができました。韓国のなかでも田舎ということで治安もよく、遠出してショッピングや観光を楽しみました。

■留学体験を通して、苦しかった事や成長した点、良かった点

一番苦しかったことは自分の語彙力のなさです。英語や韓国語を習うのではなく、その言語での授業ということで、日常会話程度では到底やっていけず、慣れるまで自分なりに勉強したり友達を作って語学交換学習をしたりして授業についていけるように対策をとっていました。そのおかげで様々な国の友達を作ることができ、日本語や文化を教えることで改めて日本の良さや日本語を教えることの難しさを学ぶことができました。

■これからこの大学に留学を希望している人へのアドバイス（準備、対策、心構え、日本から持っていった方が良い物など）

いろんな意味で日本に興味を持っている外国人がとても多いので日本の文化、歴史、政治面についてある程度の知識が必要だと思います。特に韓国では尖閣諸島の問題について聞かれることが度々ありました。次に、日本人はシャイだねとよく言われたので、日本人同士で絡んでばかりいるのではなく、積極的に外国人に話しかけて行った方がいいと思います。最後に、日本文化を紹介できるものは持っていた方がなにかと便利です。



国立济州大学校(韓国)

島田 久美子 国際学群

派遣期間・時期：2012年3月～2012年12月(合計9カ月)

■協定大学での講義

(講義内容、1週間の講義時間、名桜の講義との違い、クラスメートの出身国など)

・語学堂での授業内容：韓国語で韓国語の読み・書き・会話を勉強する。

1～5クラスまでレベル別に分かれ、1クラス10人前後で授業を受ける。

クラスには日本人、中国人、モンゴル人、フィリピン人、オランダ人、ロシア人などがいた。

教壇に先生がいて、それを囲むように座り授業を進める。授業で覚えた表現を作って例文を作らせたり、生徒同士で会話をさせたりとにかく会話を多くさせるような授業であった。

- ・音楽鑑賞 ・外国人のための韓国語高等
- ・外国人のための韓国語高等 ・英会話
- ・外国人のための韓国文化

■留学のきっかけ

韓国の文化、特にK-POPが好きで自分で歌詞の意味や韓国語の会話を理解したいと思ったから。

■現地の生活（寮・ホームステイでの生活の様子、治安、交通、買い物など）

・学内にある留学生の寮、朝・晩の食事つき(昼は各自で)2人1部屋で風呂・トイレつき

・交通手段は車かバス。バスは前払い1000ウォン(100円)走行距離で値段が変わることはない。(場所によっては200円から300円かかる場合がある)

・学校からバスで30分～40分の場所にスーパーマーケット、洋服や化粧品店、映画館やカフェがある

■留学体験を通して、苦しかった事や成長した点、良かった点など

最初の数か月、語学力が身につくまでは大変だった。韓国人のみならず、色んな国の人と仲良くなれてよかった。

■これからこの大学に留学を希望している人へのアドバイス(準備、対策、心構え、日本から持っていった方が良い物など)

到着してからは寮の費用や食事、日用品の購入など出費がかさむので、少し多めに持って行った方がいいです。(10万程度)変換プラグと薬(頭痛薬や風邪薬)、バスグッズ(シャンプーやせっけん)は日本から買って持って行った方が安心だと思います。



語学堂のクラスの皆さんと：済州文化センターにて



春の風景：済州大学内にて

ハワイ大学ヒロ校(米国)
玉城 祐美 国際学群国際学部
派遣期間・時期：2012年8月～2013年5月(合計10カ月)

■協定大学での講義

(講義内容、1週間の講義時間、名桜の講義との違い、クラスメートの出身国など)

クラスによって違うが、一週間に一コマ135分の授業が1回、90分の授業が3回、50分の授業が2回ある。また、ハワイならではのハワイに関連した授業もある。(言語、踊りなど)。講義内容はクラスによって違うが、ESLの場合だと生徒同士で問題をチェックしたりディスカッションしたりすることが多い。ESLをとっている生徒は主にアジア圏(日本、韓国、中国)が多い。

■留学のきっかけ

小さい頃に行った海外旅行で英語圏での生活に憧れを持つようになり、語学力向上だけでなく実際にその地で生活してみないと経験できないようなことを経験してみたかったのと多くの人と交流して自分の視野を広げたいと思ったから。

■現地の生活(寮・ホームステイでの生活の様子、治安、交通、買い物など)

前期・後期ともに学校の敷地内にある寮で過ごした。前期は4人部屋、後期は2人部屋でそれぞれ違う寮を経験した。ヒロは治安は良いが、やはり早朝や夜など人通りが少ない時は気をつけたほうがいい。交通手段は主に徒歩。自転車、公共バスの場合生徒はIDカードを提示すればどこでも乗車無料。買い物は主にWalmartなどの大きなショッピングセンターで十分。

■留学体験を通して、苦しかった事や成長した点、良かった点など

宿題やテスト期間中はきつかったが、サポートしてくれる先生や友達がいたことで乗り切ることができた。授業だけでは学べないような沢山の素晴らしい経験を実際に生活してみてたくさん吸収することができた。他にもマラソンに参加できたことやマウナケアボランティア、長期休暇を使っ

ての旅行なども貴重な経験だった。

マウナケアでのボランティア100時間を達成して記念に証書をもらいました。

■これからこの大学に留学を希望している人へのアドバイス(準備、対策、心構え、日本から持っていった方が良い物など)

TOEFLの勉強はしていたほうがいい。一定のスコアをクリアしていればそのままレギュラーのクラスが取れる。渡航前に自分の語学レベルを知っておくのは大切。ここは自分の気持ちの持ちようで楽しみ方が何倍にも広がるので、何事にも前向きに楽しんでほしい!



Hilo International Marathon にて



Kalapana Lava Flowにて

北京聯合大学旅遊学院(中国)

宮城 亜依 国際学群

派遣期間・時期：2012年8月～2013年6月(合計10カ月)

■協定大学での講義

(講義内容、1週間の講義時間、名桜の講義との違い、クラスメートの出身国など)

北京聯合大学旅遊大学では、クラスを3つのレベルに分けて授業を行っています。講義は朝8時から始まり、11時半に終わります。一日に二教科授業が行われます。科目数は一番下のクラスと二番目のクラスは精読・口語・聴力の3つです。一番上の3番目のクラスになると教科が4つになり、精読・説写・閲読・HSKとなります。

クラスは比較的少数クラスです。クラスメートにはアメリカ人、フランス人、フィリピン人、ロシア人、韓国人、カザフスタン人、北朝鮮人などの様々な国からの学生が多くいます。年齢も様々で、仕事をしながら勉強している学生等もいました。

■留学のきっかけ

私はもともと中国語に興味があり、また留学という海外に行くことにとても興味があったので大学に入ったら絶対に留学しようと考えていました。しかし、留学したいと思いつつも一歩を踏み出せずにいました。

やはり、行ったことのない場所に行くことの不安や恐怖が大きく、外国に行くということが当時の私にとっては大きすぎてかなわない夢のようなものでした。

ですが、2年生の夏休みに上海にインターンシップに行かせてもらう機会を頂き、そこから海外へ行くことがこんなにも簡単なことであると感じました。そして、海外へ行くことがこんなにも刺激の多い世界へ行くことであるのだなという実感もあり、絶対にまた中国へ行こうと、この時に決意しました。



■現地の生活（寮・ホームステイでの生活の様子、治安、交通、買い物など）

北京での生活は2人暮らしの寮生活です。私の場合は、前期は日本人で後期はベトナム人でした。ベトナム人の

子は聯合大学の本科生(4年間中国人と一緒に授業を受ける学生)であったため彼女の中国語能力はとて高く大変勉強になりました。ご飯を食べるときなどや、買い物するときは他の国の子たちとよく一緒に出かけていました。学校の近くにはスーパーや市場、レストランがあり、夜になると学校の近くによく屋台に扮した三輪車がよく来ていました。食べ物屋が非常に多く自分でご飯を作る子たちもいましたが、外で食べたほうが安くてたくさんの量が食べることができます。バス代や地下鉄などの交通費は日本に比べるととても安く中国に来たら色々なところへ行くことをオススメします。

■留学体験を通して、苦しかった事や成長した点、良かった点など

留學生活で一番苦しかったことは、言葉が話せなかったことです。まだ来たばかりのころはどう喋れば良いか分からずに周りの子たちの話についていけなくて辛かった思い出があります。今では良い思い出です。あの頃の辛さは私にとって逆境に立ち向かう一つのすべを学ぶことができた出来事でした。

■これからこの大学に留学を希望している人へのアドバイス（準備、対策、心構え、日本から持っていった方が良い物など）

留學する学生にあえていうならば、冬はすごく寒いので家のなかで履くモコモコの靴下があれば便利です。これは私が思うに、あったら本当に便利です。あと、蚊によく刺されるので虫刺されなどもあったら便利です。

あと留學前の準備アドバイスとして、やはり中国語の事前学習はやっておくべきです。中国に来てからいきなりは喋れないかもしれませんが、やった分だけきっとあなたの中国留學を充実したものにさせると思います。



セントラルランカシャー大学(イギリス)

知念 理加 国際学群

派遣期間・時期：2012年9月～2013年6月(合計9カ月)

■協定大学での講義

(講義内容、1週間の講義時間、名桜の講義との違い、クラスメートの出身国)

リスニング、リーディング、IELTS、イギリスの文化などのクラスを受講していました。

名桜大学との、授業の大きな違いは、授業中、発言する機会が多いことでした。

私のコースは、日本人が多かったです。中国とサウジアラビアから来ている生徒もいましたが、人数は少なかったです。

■留学のきっかけ

英語力を伸ばしたかったことと、海外で生活してみたかったことがきっかけでした。

■現地の生活（寮・ホームステイでの生活の様子、治安、交通、買い物など）

プレストンは、あまり有名な町ではありませんが、大学のあるエリアは、店も多く、生活しやすい場所でした。治安も、良いと思います。近くに、電車の駅もあるので、ほかの地域に出かけることもできます。

■留学体験を通して、苦しかった事や成長した点、良かった点など

毎日、刺激的で楽しかったのも、苦しかったことは、ありませんでした。

成長した点は、留学前より、自立した人間になった気がします。

良かった点は、イギリス英語の美しさを知ることができたことです。

■これからこの大学に留学を希望している人へのアドバイス（準備、対策、心構え、日本から持っていった方が良い物など）

イギリスには、あまり、いい文房具がないので、文房具を多めに持って行ったほうがいいと思います。



セントラルランカシャー大学(イギリス)

池田 恵 国際学群・語学教育専攻

派遣期間・時期：2012年9月～2013年5月(合計9カ月)

■協定大学での講義

(講義内容、1週間の講義時間、名桜の講義との違い、クラスメートの出身国など)

講義内容は主にアカデミックライティング、リーディング、リスニング、スピーキング、の大学で学習する必要な英語力を養う講義に加えIELTSという英語力試験の対策、イギリスの文化を中心としたスタディソサエティ、引用や文章の基本的な方法を学習するスタディスキルの6科目に分かれています。

1講義が120分で1日に2から4の講義があります。

他にも希望すれば、フリーイングリッシュクラスや、その他の授業を受講・聴講することが出来ます。

クラスメートの出身地は私の頃は偏りがあり、日本人と中国人が殆どをしめており、アラブ系の方が数人という状況でした。名桜大学、というより日本の大学との大きな違いは、講義外での宿題、自主学習、予習の求められる量が圧倒的に多いです。

■留学のきっかけ

留学は大学に入学した当時から決めていたので、きっかけらしいきっかけはありませんでしたが、LLCでチューターとして活動していたこと、英語学習に日々積極的に取り組んでいたこと、親からの後押しは大きかったと思います。

■現地の生活（寮・ホームステイでの生活の様子、治安、交通、買い物など）

寮はフラット式で、キッチンリビングを6人くらいで共用していました。そのため他国からの友達も増やすことが出来ます。物価は、現時点は円安のためそこまで安くは無いのですが、近くに大型の安いスーパーがあり、日本では考えられない値段で食品が売ってたりするので食費は減らそうと思えば幾らでも減らせると思います。治安はお世辞でも良いとは言えないと思います。特に週末の夜などは、酔った人がそこら中にいて大声を出していたり、時にマリファナの匂いがしたりします。夜の一人歩きは出来れば避けたいですね。プレストンは小さくても必要な店はそろっているの、とても便利です。

娯楽面でも、パブ、バー、大きな公園、映画館、ボウリング場、スノーカ、クラブなど充実しているの、十分に楽しめると思います。

■留学体験を通して、苦しかった事や成長した点、良かった点など

良かった点は沢山の新しい体験を積むことが出来たことです。見える世界が広がり、自分の価値観を大きく変えてくれました。

■これからこの大学に留学を希望している人へのアドバイス（準備、対策、心構え、日本から持っていった方が良い物など）

私が日本から持っていかなくて困ったものはICチップ付きのカードです。こちらではカードでの支払いや引き出しが比較的多くなるのでカードは必須です。種類はvisaかmasterカードが無難です。JCBなどは使えない店が多いので注意しましょう。

ほとんどの物は殆どイギリス国内で買えます。



湖南農業大学(中国)

玉城 康雅 国際学群

派遣期間・時期：2012年9月～2013年8月(合計11カ月)

■協定大学での講義

(講義内容、1週間の講義時間、名桜の講義との違い、クラスメートの出身国など)

本校では一講義90分、間に10分間の休憩を挟み講義が行なわれます。週に4コマの中国語の講義と週に3コマの英語の講義を受講しています。また時間を見つけては日本語学科の授業に参加しています。クラスメートのモンゴル、アフリカの学生と計5人で授業が行われています。しかし、語学力の差が重大なのでそれぞれのレベルにあった講義が行なわれていない気がします。またこれと決まった体系が無いため、どうしても日本の大学に比べれば適当であるという印象を抱いてしまうかも知れません。それでもこまめなサポートもありますし、本当に過ごし易いのではないのでしょうか。

■留学のきっかけ

若いうちに国外に出て違った世界を見てみたかったというのが主な理由です。また選択科目で中国語を受講した際に担当の先生から色々な指導を賜り、中国語スピーチコンテストにも参加することが出来ました。きっかけはそれらを通し中国に対して興味が湧いたと聞いていいと思います。

■現地の生活（寮・ホームステイでの生活の様子、治安、交通、買い物など）

校内で買い物はすべて済ませることが出来ます。日本の大学と違い中国の大学は、学生は皆校内で生活します。約3万人の学生が校内で暮らしていますが、治安はとてもいいと思います。交通は少し不便ですがバスに乗って市内に遊びに行くことも可能ですし、生活面で心配することはありません。

■留学体験を通して、苦しかった事や成長した点、良かった点など

やはり来た当初は言葉の壁や文化の違いを痛感させられました。それでも尚、意思を伝えたい一心で失敗を恐れず発信し続けました。もちろん反日や民度の低さを感じることもありますが、それもまた一部で、少なくとも私の友人は礼儀を重んじ他人を尊重してくれます。また彼らはなぜ中国人がそのような行動をとるのか教えてくれました。

■これからこの大学に留学を希望している人へのアドバイス（準備、対策、心構え、日本から持っていった方が良い物など）

特に前もって準備をすることは無いと思います。私の場合頻繁に旅行したのでかなり費用が嵩んでしまいましたが、自分なりに節約さえすればまだまだ節減可能だと思います。と言うのも食品の安全、品質の面から値段が高いものばかりを手にしていました。とりあえずどこに行ってもそうですが、大事なものは「郷に入っては郷に従う」の言葉に尽きると思います。後は、留学前に簡単な日常会話程度は修得するようお勧めします。

留学費用の一般例

注)あくまでも留学費用は、個人的な費用で留学当時の外国為替レートや個人的な差があります。
また、個人の意思によりプライバシーを尊重して情報が無い部分があります。

【ウーロンゴン大学の例】

私の留学費用	
テキスト・文具など	約5000円
住居費・光熱費(11カ月)	約80万円
食費(11カ月)	約 万円
航空券(往復)	約15万円
海外旅行保険(11カ月)	約10万円
交際費	約15万円
その他	約3万円
合計	約123.5万円

住居費に食費が含まれています

【ハワイ大学ヒロ校の例】

私の留学費用	
テキスト・文具など	約2万5千円
住居費・光熱費(11カ月)	約70万円
食費(11カ月)	約 円
航空券(往復)	約15万円
海外旅行保険(11カ月)	約12万円
交際費	約 円
その他	約 円
合計	約110万円

住居費に食費が含まれています

【北京聯合大学旅遊学院の例】

私の留学費用	
授業料	名桜大学へ支払う
テキスト・文具など	約 0 円
住居費・光熱(10カ月)	約20万円
食費(10カ月)	約13万円
航空券(往復)	約9万円
海外旅行保険(11カ月)	約15万円
交際費	約 円
合計	約57万円

【啓明大学の例】

私の留学費用	
授業料	約 円
テキスト・文具など	約1万円
住居費・光熱費(12カ月)	約20万円
食費(12カ月)	約36万円
航空券(往復)	約8万円
海外旅行保険(12カ月)	約15万円
交際費	約5万円
その他	約5万円
合計	約90万円

【ロンドリーナ州立総合大学の例】

私の留学費用	
授業料	名桜大学へ支払う
テキスト・文具など	約5千円
住居費・光熱費(1カ月)	約3万8千円
食費(1カ月)	約1,2万円
航空券(往復)(ビザ申請代・空港税含)	約50万円
海外旅行保険(12カ月)	約12万円
交際費(1か月)	約1,2万円
その他	約 円
合計	約68.7万円

【国立済州大学の例】

私の留学費用	
授業料(名桜大学に納めている学費を除く)	
テキスト・文具など	約1.5万円
住居費・光熱費(9カ月)	約20万円
食費(1カ月)	約0.6万円
航空券(往復)	約14万円
海外旅行保険(12カ月)	約11.5万円
交際費	約10万円
その他	約 円
合計	約57.6万円

【湖南農業大学の例】

私の留学費用	
授業料	名桜大学へ支払う
テキスト・文具など	約2万円
住居費・光熱費(10カ月)	約50万円
食費(10カ月)外食込み	約20万円
航空券(往復)	約15万円
海外旅行保険(10カ月)	約10万円
交際費	約5万円
その他(旅行・衣服・生活必需品など)	約30万円
合計	約132万円

【セントラルランカシャー大学の例】

私の留学費用	
授業料	名桜大学へ支払う
テキスト・文具など	約0.5万円
住居費・光熱費(11カ月)	約23.1万円
食費(11カ月)	約15万円
航空券(往復)	約5.5万円
海外旅行保険(12カ月)	約8.5万円
交際費	(食費に含む)
その他	約4万円
合計	約56.6万円

名桜大学海外派遣留学ガイドブック 第二版

発行 2013年7月20日

名桜大学

〒905-8585

沖縄県名護市字為又1220番地の1

編集 名桜大学全学交流委員会

名桜大学学生課国際交流係(0980-51-1054)



セントラルランカシャー大学(イギリス)

啓明大学校(韓国)

国立済州大学校(韓国)

北京聯合大学旅遊学院大学(中国)

湖南農業大学(中国)

ベトナム国家大学
ホーチミン市人文社会科学大学(ベトナム)

大仁科技大学
(台湾)

グアム大学
(アメリカ)

ジョージフォックス大学
(アメリカ)

スプリングフィールド大学(アメリカ)

ロングアイランド大学(アメリカ)

サウスイーストミズリー州立大学(アメリカ)

ハワイ大学ヒロ校
(アメリカ)

メーファールディング大学(タイ)

マラヤ大学(マレーシア)

サイアム大学(タイ)

ハサヌディン大学(インドネシア)

マニラ大学(フィリピン)

ウーロンゴン大学(オーストラリア)

ロンドリーナ州立総合大学(ブラジル)

産業社会科学大学(アルゼンチン)

パシフィック大学(ペルー)